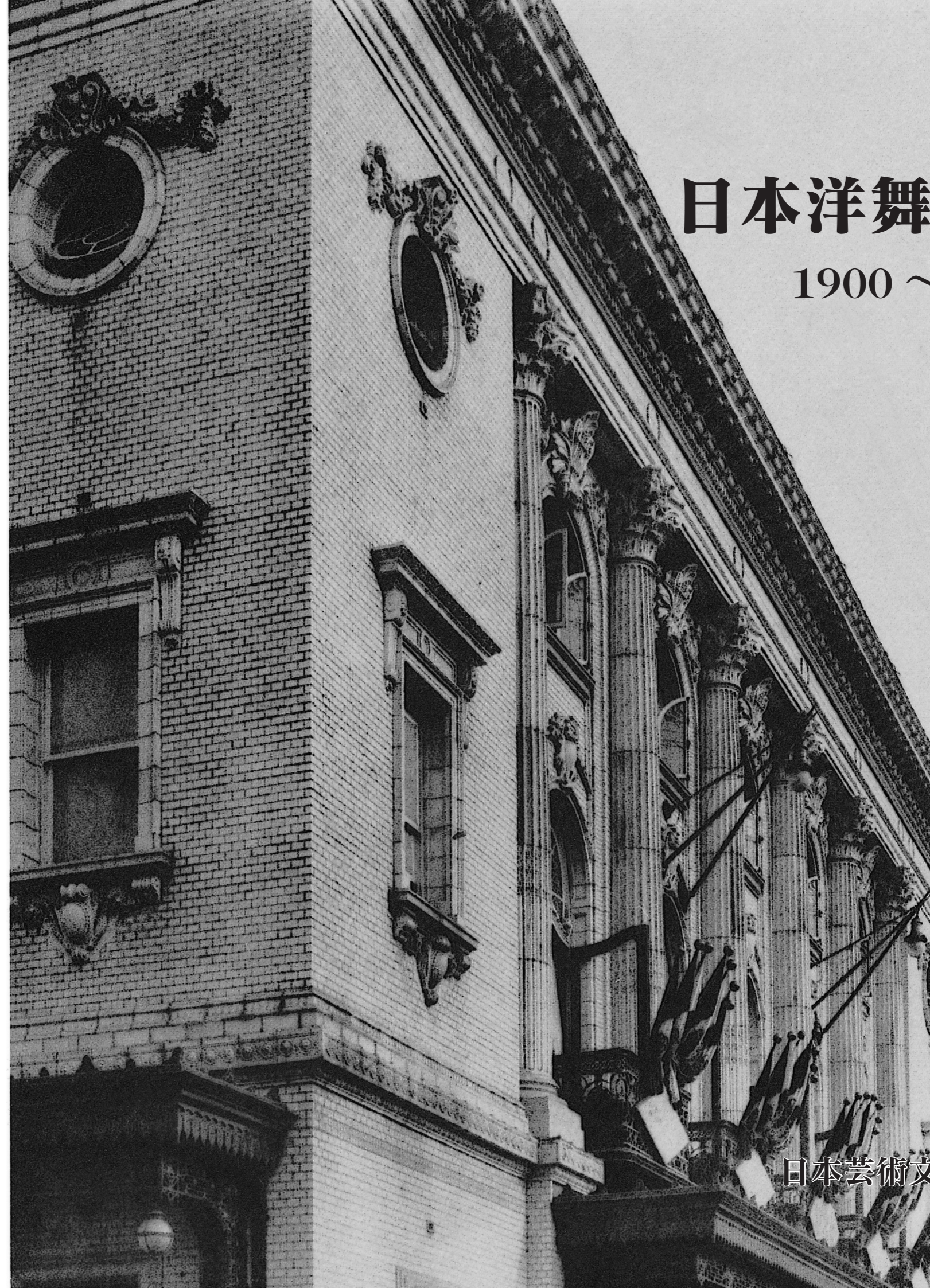


日本洋舞史年表 I

1900 ~ 1959



日本藝術文化振興会

「日本洋舞史年表」の発行にあたって

21世紀を迎えた今、私たちは軽い驚きの念をもって芸術、文化の世界を見渡しています。日本発の文化がアジアや欧米で好意的に迎えられ、主流的なものとして認知されるようになったのは、ごく最近のことです。そして、その魅力が何によるものか、私たちは自分でもよくわかっていないように思えます。

明治維新から百年余の歳月、日本人は必死の思いで西欧の文化を学び、それがようやく自然に身につくようになった、ということもあるでしょう。また、その過程で日本独自の遺産を手放さず、新しい様式に注ぎ込む努力を続けてきたこともあると思います。

日本における洋舞の展開は、まさにこうした活動の集積です。西欧文化や日本の古典、そのどちらか一方だけではない、日本独特の世界を築き上げてきた先駆的な分野でもあります。そうした先人たちの歩みを振り返ることは、これからの日本文化の発展にも大きな意味を持つことと思います。

今回、日本洋舞史研究会の皆様のご研究成果を当情報センターから発行できることは、大変意義のあることです。また、これを土台として、さらに拡充していくことが重要です。そのためにも、広く皆様方のご理解、ご協力を仰ぎたいと考えております。

新国立劇場情報センター

「日本洋舞史年表Ⅰ」の刊行にあたって

日本の洋舞の歴史を振り返り、このあたりでその実績をもう一度確かめてみようという趣旨で、有志による《日本洋舞史研究会》がスタートしたのは、2000年6月2日のことであった。まず舞踊評論家の江口博氏が、江口隆哉氏の個人研究誌「現代舞踊」に95回にわたり連載された「洋舞五十年」を、微に入り細にわたって検証しながら読もうということになった。我々は、この労作が復刻出版されることを念頭に置き、人名、作品名、地名等の表記の統一、記載された年月日のチェック等を他の資料も参照しつつ読みつぎ、日本洋舞史の草創期から約40年間の詳細を学んだ。この連載は、掲載誌の廃刊により、惜しくも1930年代までの記述で中断している。

「洋舞五十年」を読み終えて、江口博氏が書き残したその後の日本洋舞史についても我々は知りたくなった。そして西宮安一郎編の「江口隆哉と芸術年代史」、村松道弥著の「私の舞踊史」上中下巻をメインのテキストとして、さらに勉強会を続行した。その過程で近いうちに誰かが「日本洋舞史100年」を書き残さなければならぬこと、その基礎資料として「日本洋舞史年表」がまず必要であることが我々の共通の意識となった。そして年表の作成にとりかかったのだが、膨大な資料を整理するうちに、完成までにはとんでもない時間を要することがわかった。そこでまず草創期から1959年末までを一区切りとし、それを新国立劇場情報センターより「日本洋舞史年表Ⅰ」として発行していただくこととした。

各方面よりの忌憚のないご批判を仰ぎ、「日本洋舞史年表Ⅰ」が日本の洋舞の前半の歴史を後世に伝える、より完全な資料となるよう、その改訂作業を急ぎたい。また出来るだけ早い機会に「日本洋舞史年表Ⅱ」も刊行して、日本洋舞史100年をひとつの流れとしてとらえられるようにしたいと思っている。

2003年10月

日本洋舞史研究会

稲毛博美 舞踊家

薄井憲二 舞踊史研究家

金井美三枝 舞踊家

國吉和子 舞踊評論家

山野博大 舞踊評論家

凡 例

収録範囲

この年表に収められた項目は、1900年から1959年までに日本国内外の舞踊界で起こった主な出来事である。外国での出来事は特に、日本の洋舞界に直接、間接的に影響を与えたと判断されたもの、および国内の出来事との対照という観点から項目を厳選した。

データは「洋舞五十年」（江口博）、「私の舞踊史 上・中・下」（村松道弥）、「江口隆哉と芸術年代史」（西宮安一郎・監修）、「バレエ年鑑」「現代舞踊年鑑」等を参照したほか、プログラムなどの一次資料や各種図書資料、および直接の問い合わせを行ない正確を期した。

記載形式

記載事項は左から、A) 年月日、B) 出来事の内容の2種からなり、各年毎の最後に、その年のC) 出版、D) 受賞 をまとめて記載した。

A) 年月日

例：1953.11.04 の場合は、1953年11月4日

B) 出来事の配列

原則として、公演名（上演された劇場）「作品名」 振付者名 = 作曲者名 = 美術家名 = ・ ・ ・などを記載し、最後に出演者名を列挙した。

作品が複数上演された場合、すべてを記載することができない場合は「他」、出演者名を略した場合は「等」

例：高田・山田創作バレエ団公演（日比谷公会堂）「石像と花と女」作曲＝陶野重雄，「炎も星も」作曲＝芥川也寸志，構成＝高田せい子 山田五郎 装置＝伊藤寿一 照明＝穴沢喜美男 出演＝平岡斗南夫 山田奈々子 志賀美也子 等
句読点の使い分けは、上記の例中、カンマで区切られたところは、作曲者が二つの作品で異なることを示し、構成 装置 照明 出演はいずれも二作品共通となるので後に続けて記載した。

なお、作品の初演に関してはバレエ作品の場合のみ日本初演を（ ）で示した。

C) その年の出版と、D) 受賞は、アミ掛けの濃度で区別した。

統一表記

人名：Anna Pavlova = アンナ・パヴロワ、Elena Pavlova = エリアナ・パヴロバ と区別した。Mary Wigman = メリー・ヴィグマン（ドイツ名ではマリー・ウィグマンとなるところだが、特に伝えられていた本人のコメントに従った。）

作品名：初演当時の表記を尊重したので、時代とともに不統一となったものや、旧式の表記も生じた。

会場名：時代とともに呼称が変化したものがあるが、当時の通称をそのまま表記した。

1900年（明治33年）	
1900.---	イサドラ・ダンカン、渡欧。マダム・サン・マルソのサロンでデビュー、パリで認められる
1900.---	パリ大博覧会でロイ・フラーの後援により、川上音二郎一座公演。川上貞奴、日本舞踊を踊る
1901年（明治34年）	
1901.---	イサドラ・ダンカン、ロイ・フラー、川上貞奴とベルリン、ライプツィヒ、ミュンヘン、ウィーンを巡演
1902年（明治35年）	
1902.---	イサドラ・ダンカン、パリのサラ・ベルナール劇場で初りサイタル。ショパン、グルックの曲を踊る
1902.---	坪内逍遙、新舞踊を志す
1903年（明治36年）	
1903.03.02	川上音二郎・貞奴公演（明治座）「オセロ」内田静枝（初代藤森静枝、後の静樹） デスデモーナの侍女役で出演
1903.---	イサドラ・ダンカン、ブダペスト、ベルリンなど各地で公演
1903.---	アメリカの女優カーマンセラー舞踊ショー（歌舞伎座）「白銀の杯」「ナイト・ダンス」「火焰の舞」他
1904年（明治37年）	
1904.11.--	坪内逍遙「新楽劇論」を発表
1905年（明治38年）	
1905.01.--	イサドラ・ダンカン、ロシアを訪問。ペテルブルグ、モスクワ、キエフで公演。ミハイル・フォーキン、アンナ・パヴロワ、レオン・バクスト、セルゲイ・ディアギレフ、スタニスラフスキー等と出会う
1905.---	イサドラ・ダンカン、ベルリン近郊に舞踊学校を開設
1905.---	ミハイル・フォーキン、アンナ・パヴロワのためにペテルブルグで「瀕死の白鳥」を振付ける
1906年（明治39年）	
1906.---	高木徳子、結婚して渡米、トゥ・ダンスを修得
1906.02.17	第1次文芸協会発足（芝紅葉館）大隈重信、島村抱月、東儀鐵笛 等。余興として「新曲浦島」「杵手鳥孤城落月」作＝坪内逍遙
1906.10.18	帝国劇場株式会社発起人総会開催（銀行倶楽部）西園寺公望、伊藤博文 等出席。帝国劇場創立委員長に渋沢栄一が選出される
1907年（明治40年）	
1907.05.--	帝国劇場建築工事着工 麹町区有楽町1-1
1907.09.--	ミス・ミクス来日、帝国劇場洋舞指導者となる
1908年（明治41年）	
1908.03.08	キーロフ・バレエ公演（マリインスキー劇場）「ショパニアーナ」II（後の「レ・シルフィード」）振付＝フォーキン 出演＝アンナ・パヴロワ ローラン・ノヴィコフ 等

1908.09.15	川上音二郎・貞奴夫妻が「帝国女優養成所」を桜田本郷町に創設
1908.11.--	有楽座、東京有楽町に開場
1908.12.12	帝国劇場定礎
1908.12.--	イサドラ・ダンカン、ニューヨーク、ワシントン公演（メトロポリタン・オペラハウス等）
1909年（明治42年）	
1909.04.--	石井漠、秋田より上京
1909.05.19	ディアギレフ・バレエ団（後のバレエ・リュス） ロシア・シーズン（パリ、シャトレ座）
1909.07.15	「帝国女優養成所」を帝劇が譲りうけ「帝国劇場附属技芸学校」とし、ミス・ミクスを舞踊教師として雇用した
1909.09.--	坪内士行（坪内逍遙の養子） アメリカへ留学
1910年（明治43年）	
1910.02.28	アンナ・バヴロワ、アメリカにデビュー（ニューヨーク、メトロポリタン・オペラハウス） 「コッペリア」「瀕死の白鳥」
1910.05.20	ディアギレフ・バレエ団公演（ベルリン西劇場）バレエ・パントマイム「カーニバル」（初演） 振付＝フォーキン 作曲＝シューマン 美術＝バクスト，他
1910.06.04	ディアギレフ・バレエ団公演（パリ、オペラ座）「シェヘラザード」（初演）振付＝フォーキン 作曲＝リムスキー・コルサコフ 美術＝バクスト 出演＝ニジンスキー 等，他
1910.06.25	ディアギレフ・バレエ団公演（パリ、オペラ座）「火の鳥」（初演）振付＝フォーキン 作曲 ＝ストラヴィンスキー 美術＝ゴロヴィン 出演＝カルサーヴィナ フォーキン 等，他
1910.09.--	石井忠純（石井漠）、帝国劇場の管弦楽部員に採用される
1910.--.--	ルドルフ・フォン＝ラバン、ミュンヘンに舞踊学校を開設
1911年（明治44年）	
1911.03.01-02	帝国劇場開場記念公演 西洋舞踏「フラワーダンス」他 振付＝ミス・ミクス 出演＝帝国 劇場附属技芸学校専属女優
1911.04.19	ディアギレフ・バレエ団公演（モンテカルロ、モンテカルロ劇場）「バラの精」（初演）振付 ＝フォーキン 作曲＝ウェーバー 出演＝カルサーヴィナ ニジンスキー，他
1911.04.26	ディアギレフ・バレエ団公演（モンテカルロ、モンテカルロ劇場）「ナルシス」（初演）振付 ＝フォーキン 作曲＝チェレブニン，他
1911.05.10-17	第3回帝劇興行（帝国劇場）洋舞「クラウドバレー」「水兵の歌とダンス」振付＝ミス・ミク ス
1911.06.06	ディアギレフ・バレエ団公演（パリ、シャトレ座）「サドコ」（初演）振付＝フォーキン 作 曲＝リムスキー・コルサコフ 美術＝バクスト，他
1911.06.13	ディアギレフ・バレエ団公演（パリ、シャトレ座）「ペトルーシュカ」（初演）振付＝フォー キン 作曲＝ストラヴィンスキー 美術＝ブノワ 出演＝ニジンスキー カルサーヴィナ オルロフ チェケッティ 等，他
1911.07.01-25	第6回帝劇興行（帝国劇場）「ケーキ・ウォーク」振付＝ミス・ミクス 出演＝帝国劇場附属 技芸学校専属女優

1911.08.--	帝国劇場、歌劇部を新設し、第一期生に石井林郎（本名＝忠純、後の石井漠）、小森敏、河合 幾代、沢美千代（沢モリノ）等を採用
1911.10.01-25	第8回帝劇興行（帝国劇場）「ムーンライト・ドリーム」「胡蝶の舞（作＝松居松葉）」振付＝ ミス・ミクス，他
1911.--.--	ヘレラウにダルクローズ学校開校。後にドレスデン、パリ、ロンドンに分校を開設。メリー・ヴィ グマン、ゲルトロード・ヴィーゼンタール、ルドルフ・ボーデ、マリー・ランベール、伊藤道郎、 岩村和雄、小林宗作等を輩出した
1912年（明治45年～大正元年）	
1912.02.--	帝国劇場歌劇部第1回公演（帝国劇場）創作歌劇「熊野」を上演 出演＝柴田（三浦）環 石井林郎（石井漠） 等
1912.04.01-25	帝劇興行（帝国劇場）「フラワーダンス」振付＝ミス・ミクス
1912.05.29	ディアギレフ・バレエ団公演（パリ、シャトレ座）「牧神の午後」（初演）振付＝ニジンスキー 作曲＝ドゥビュッシー 美術＝バクスト
1912.06.--	フォーキン、ディアギレフ・バレエ団を去る
1912.08.05	ジョバンニ・ヴィットリオ・ローシー ロンドンにて帝劇と契約し、10月来日、帝国劇場歌 劇部のバレエ・マスターとなる。日本にダンス・クラシックの技法がはじめて正式にもたら された。1期生に石井林郎（石井漠）、柏木敏（小森敏）、沢美千代（沢モリノ）、2期生（13 年入部）に中村春夫（高田雅夫）。14年入部の原せい子（高田せい子）は音楽の実績を買われ て1期生に編入された
1912.10.16-11.10	帝劇興行（帝国劇場）無言劇「犠牲」振付＝ローシー 演出＝7代目松本幸四郎 出演＝ロー シー ジュリア・リーベ（ローシー夫人）等 他に「スコッチダンス」
1912.12.--	小山内薫、渡欧
1912.12.--	伊藤道郎、声楽研究のため渡欧。パリ、エジプトを回り、ベルリンへ行く
1912.--.--	白木屋（百貨店）、少女歌劇を始める
1913年（大正2年）	
1913.01.05-29	帝国劇場公演（帝国劇場）「マリー・ド・クロンピッレ」振付＝ローシー
1913.04.01-25	帝国劇場公演（帝国劇場）「エレクトリック・ダンス」振付＝ローシー 出演＝帝国劇場附属 技芸学校専属女優
1913.05.15	ディアギレフ・バレエ団公演（パリ、シャンゼリゼ劇場）「遊戯」（初演）振付＝ニジンスキー 作曲＝ドゥビュッシー 出演＝カルサーヴィナ ニジンスキー 等
1913.05.29	ディアギレフ・バレエ団公演（パリ、シャンゼリゼ劇場）「春の祭典」（初演）振付＝ニジンスキー 作曲＝ストラヴィンスキー 台本・美術＝レーリッヒ，他
1913.06.12	ディアギレフ・バレエ団公演（パリ、シャンゼリゼ劇場）「サロメの悲劇」（初演）振付＝B・ ロマーノフ 作曲＝フローラン・シュミット，他
1913.07.--	小林一三、宝塚少女唱歌隊を結成
1913.08.01-20	帝国劇場公演（帝国劇場）「生ける立像」振付＝ローシー，他
1913.09.10	南アメリカ巡演中にニジンスキー結婚、相手は巡業新参加の踊り手プルスカ（後のロモラ・ ニジンスキー）

1913.12.--	ディアギレフ、ニジンスキーを解雇。リオでの無断休演、「カーニバル」出演拒否が理由
1913.12.--	宝塚少女唱歌隊、宝塚少女歌劇養成会と改称
1913.--.--	メリー・ヴィグマン、ルドルフ・フォン＝ラバンの弟子となる
1913.--.--	メリー・ヴィグマン、ラバン・グループ公演の中で自作「魔女の踊り」I（ソロ）を踊り、新しい踊り手として認められる
1913.--.--	帝国劇場歌劇部第2期生募集 春日桂（清水静子）、天野喜久代、山根千世子、花園百合子、石井行康（石井潤の祖父）、岸田辰弥、高田春夫（雅夫）等11名
1913.--.--	伊藤道郎、ドレスデン近郊ヘレラウのダルクローズ学校へ入学
1913.--.--	アンナ・パヴロワ、マリインスキー劇場と再契約せず、ロシアを離れ、生涯帰国しなかった
1914年（大正3年）	
1914.02.--	トゥ・ダンサー高木徳子、アメリカより帰国
1914.03.01-25	帝国劇場公演（帝国劇場）ダンス「春の宵」振付＝ローシー
1914.04.01	宝塚少女歌劇養成会第1回公演
1914.05.--	帝国劇場歌劇部、洋劇部と改称
1914.05.24	ディアギレフ・バレエ団公演（パリ、オペラ座）「金鶏」（初演）振付＝フォーキン 作曲＝リムスキー・コルサコフ 美術＝ゴンチャロワ 出演＝カルサーヴィナ プルガーコフ チェケッティ 等
1914.06.01-25	帝国劇場公演（帝国劇場）黙劇「金色鬼」振付＝ローシー 出演＝ローシー夫妻 石井林郎（石井漠） 高田春夫（高田雅夫） 等
1914.08.01-31	帝国劇場公演（帝国劇場）西洋舞踏「夏の園」振付＝ローシー
1914.08.--	伊藤道郎、第一次世界大戦勃発のためロンドンへ逃れる
1914.--.--	坪内士行、帰国
1915年（大正4年）	
1915.02.01-25 /03.26-31	帝国劇場公演（帝国劇場）「夢想的バレエ」振付＝ローシー 出演＝高木徳子（帝国劇場にデビュー） 高田春夫（高田雅夫） 等、他
1915.07.01-25	帝国劇場公演（帝国劇場）バレエ「狐の女神」振付＝ローシー 出演＝沢モリノ 等、他
1915.09.--	石井林郎（石井漠）、ローシーと争いを起し帝国劇場を去る
1915.10.01-25	帝国劇場公演（帝国劇場）バレエ「嫉妬」振付＝ローシー 出演＝森律子 等、他
1915.12.25-27	帝国劇場公演（帝国劇場）お伽話「ハンガリアン・ダンス」振付＝ローシー、他
1916年（大正5年）	
1916.03.25-27	帝国劇場公演（帝国劇場）「タンパリン・ダンス」
1916.04.--	高木徳子、キネマ倶楽部で「世界的バラエティ」を上演、浅草オペラの先駆となる
1916.04.02	伊藤道郎、ロンドン、キューナード夫人邸にてイエーツの「鷹の井戸」に出演 鷹＝伊藤道郎 美術＝エドモンド・デュラック
1916.05.01-25	帝国劇場公演（帝国劇場）楽劇「昇る旭」作＝久米平内 指導＝ローシー ローシー特別出演。帝劇におけるローシー最後の舞台

1916.05.--	帝国劇場洋劇部は解散となり、ローシーは解雇された
1916.06.02-04	新劇場第1回公演（帝国劇場）舞踊詩「日記の一頁」（後に「法悦」と改題）振付＝石井漠 日本人による最初の創作舞踊
1916.06.16-18	エレナ・スミルノワ、ボリス・ロマノフが来日、帝国劇場で「白鳥の湖」のパ・ド・ドゥ、「瀨死の白鳥」「ダイアナの踊り」他を踊る
1916.09.26-28	新劇場第2回公演（本郷座）舞踊詩劇「明闇」振付＝石井漠 盲法師＝石井漠 破戒僧＝柏木敏（小森敏）
1916.09.--	新劇場第3回公演（丸の内保険協会講堂）石井漠、「ユーモレスク」を沢モリノと踊る
1916.09.--	坪内士行、文芸作家として宝塚少女歌劇養成会に入る
1916.10.--	石井漠、宝塚少女歌劇養成会の舞踊教師となる
1916.10.--	ローシー、赤坂にローヤル館開場。高田雅夫、原せい子参加
1917年（大正6年）	
1917.02.24	近代声楽舞踊大会（大阪近松座）石井漠 原田潤 柏木敏（小森敏） 等
1917.05.29	藤蔭会第1回公演（常盤木倶楽部）藤蔭静枝（初代藤蔭静枝、のち静樹）藤間藤代、藤間勘次により結成
1917.05.--	高田雅夫、原せい子、ローシーのローヤル館を離れる
1917.07.--	榎茂都陸平、宝塚少女歌劇団に参加
1917.09.26	ニジンスキー最後の舞台（プエノス・アイレス）
1917.09.30	第2回藤蔭会（有楽座）「出雲のお国」藤蔭静枝（初代藤蔭静枝、のち静樹）
1917.10.23	東京歌劇座公演（日本館）「女軍出征」「明闇」他 振付＝石井漠 出演＝石井漠 沢モリノ 河合澄子 等
1917.10.--	川上貞奴、「アイーダ」を演じて引退
1917.12.13	山田耕筰、渡米
1917.--.--	石井漠、大場八重と結婚
1918年（大正7年）	
1918.02.03-12（3日間）	伊藤道郎リサイタル（ニューヨーク、グリニッチ・ヴィレッジ劇場）「鳥の踊り」「道成寺」他
1918.02.--	小森敏、渡米
1918.02.25	歌劇「椿姫」を最後に、ローシーのローヤル館解散
1918.03.21（又は19日）	ローシー、夫人と共に日本を去り渡米
1918.03.03	原信子、浅草観音劇場で歌劇団旗揚げ
1918.04.07-21（3日間）	伊藤道郎リサイタル（ニューヨーク、グリニッチ・ヴィレッジ劇場）「鶴亀」「京の四季」「かっぱれ」「槍の踊り」他
1918.06.08	東京歌劇場公演（開明座）「若い牧神と水の精」（後に「若きパンとニムフ」と改題）「黙禱」他 振付＝石井漠

1918.--	新村英一、秋に渡米
1918.---	石井漠舞踊公演（浅草、日本館） 浅草オペラ合同公演
1919年（大正8年）	
1919.05.01-14	梅蘭芳京劇公演（帝国劇場）
1919.05.--	山田耕筰、アメリカから帰国
1919.07.31	エリアナ・パヴロバ公演（神戸オリエンタル・ホテル）
1919.10.4-12	六ヶ国聯合歌舞音楽団公演（浅草 日本館） 英・米・仏・露・伊など六ヶ国の音楽家とともにエリアナ・パヴロバの「瀕死の白鳥」など上演。
1919.---	伊藤道郎、ニューヨーク市 59 丁目にスクールを開設
1919.---	メリー・ヴィグマン、ラバン舞踊学校を卒業、独立してドイツ巡業
1919.---	V. ニジンスキー、引退
1919.---	エリアナ・パヴロバ、ロシア革命に追われハルピン、上海を経て来日、神戸から横浜に移住。最初の門下生は江川幸一、藤田繁（藤田彰彦の父）
1920年（大正9年）	
1920.03.--	岩村和雄（岩村信雄の父）渡米
1920.10.--	河上鈴子、上海でリサイタル
1921年（大正10年）	
1921.03.20-05.20	宝塚少女歌劇団公演（宝塚公会堂劇場）「春から秋へ」振付＝榎茂都陸平
1921.03.--	ナデジダ・パヴロバ、姉エリアナを追って、亡命か（未確認）。エリアナ・パヴロバを支援する澤静子の呼びかけでエリアナの後援会露西亜舞踊劇協会を設立。
1921.05.--	藤蔭会第9回公演（有楽座）「思凡」振付・出演＝藤蔭静枝（初代藤蔭静枝のちの静樹）
1921.07.15	松竹キネマ研究所作品映画「君よ知らずや」（指揮、小山内薫、脚本・監督、村田実）にエリアナ・パヴロバが主演
1921.11.25-27	春秋座公演（明治座）新舞踊「虫」作曲＝今儀修山 振付＝2代目市川猿之助（猿翁） 出演＝市川猿之助 等
1921.---	クラウジヤ・クリチューフスカヤ一行来日、横浜、東京、京都、神戸、長崎で公演。クリチューフスカヤは高齢のため踊らず、タチアナ・ピヤンコーワ等が踊る
1922年（大正11年）	
1922.02.--	新舞踊研究の「羽衣会」を5代目中村福助が結成
1922.03.--	石井漠舞踊公演（有楽座）「道成寺の幻想」「円光は人に見えず」振付＝石井漠 美術＝斎藤桂三
1922.04.--	松竹楽劇部、大阪に開設。同年9月23日に大阪松竹歌劇団と改称。1971年に近鉄傘下に入り支援を受けていたが、2003年5月25日の興行で解散した
1922.08.--	新舞踊研究の「踏影会」を7代目尾上栄三郎が結成
1922.09.10-29	アンナ・パヴロワ一行20名（パヴロワ夫人露国舞踊劇一座）来日（帝国劇場、その後、神戸、岡山、長崎、広島、下関）「瀕死の白鳥」「蜻蛉」「ショピニアーナ」他

1922.09.03	高田雅夫、せい子夫妻、アメリカ、ヨーロッパへ向け出発。1924年まで欧米巡演
1922.10.05	石井漠渡欧記念舞踊公演（帝国劇場）「沈める寺」振付＝山田耕筰、「若きパンとニムフ」振付＝石井漠 他
1922.11.04	石井漠、石井小浪、渡欧
1922.07.10	山田耕筰「近代舞踊の烽火（のろし）」（アルス） イサドラ・ダンカン著「将来の舞踊（Der Tanz der Zukunft, Eurgén Dirderichs, Leipzig: 1903）」の翻訳を含む
1922.---	二見孝平訳著「アンナ・パヴロワ」（アルス）
1922.---	「中央美術（パヴロワの芸術）」84号（日本美術学院）
1923年（大正12年）	
1923.01.14	石井漠、石井小浪、マルセイユ到着、パリへ向う
1923.01.--	高田雅夫・原せい子夫妻、ニューヨークで伊藤道郎等と踊る
1923.01.--	イサドラ・ダンカン、最後のアメリカ公演
1923.03.24	石井漠、石井小浪、ベルリンで公演
1923.---	小林宗作、ダルクローズ舞踊学校・パリ分校入学
1923.---	新村英一、デニション舞踊団で舞踊の訓練を受ける
1923.11.--	高田雅夫・原せい子夫妻、ロンドンでアンナ・パヴロワと共演
1924年（大正13年）	
1924.09.--	高田雅夫・原せい子夫妻帰国
1924.11.25-30	高田雅夫・原せい子帰朝第1回新作舞踊公演（演技座）高田雅夫 原せい子 宮操子 等
1924.11-1925.03.	クセニア・マクレツォワが来日し、大阪松竹座、東京歌舞伎座などで大阪松竹楽劇団と共に「火の鳥」「レ・シルフィード」「白鳥の湖」抜粋などを上演
1924.07.25	永田龍雄「泰西舞踊十二講」内田老鶴圃
1925年（大正14年）	
1925.01.--	石井漠、石井小浪アメリカ公演（ニューヨーク）「囚われたる人」「明暗」他
1925.04.03	石井漠、石井小浪帰国
1925.04.28-5.1	石井漠帰朝第1回舞踊詩公演（築地小劇場）「法悦」「囚われたる人」「明暗」「若きパンとニムフ」石井漠 石井小浪
1925.09.01-25	デニション（テッド・ショーン、ルース・セント・デニス）舞踊団初来日公演（帝国劇場、その後、静岡、名古屋、大阪、熊本）「愛の夢」「マラゲニア」他
1925.10.09-11	石井漠・石井小浪第2回新作舞踊発表会（築地小劇場）「ケーキ・ウォーク」「山を登る」他
1925.10.--	日本青年館開場
1925.10.--	帰朝披露第1回高田雅夫・原せい子舞踊団公演（帝国劇場）藤田繁 益田隆 宮操子 等
1925.12.26	河上鈴子舞踊会（帝国ホテル演芸場） 上海より来日
1925.---	服部智恵子、日本へ引き揚げエリアナ・パヴロバ・バレエ団に参加
1925.---	エリアナ・パヴロバ、鎌倉七里ガ浜にバレエスタジオ開設、門下から服部智恵子、東勇作、橘秋子、貝谷八百子、島田廣等が出る

1926年（大正15年～昭和元年）	
1926.05.--	山田五郎、ニューヨークへ
1926.06.22	石井漠・石井小浪舞踊詩第3回新作発表公演（邦楽座）石井漠 石井小浪 崔承喜 等
1926.07.24-25	エリアナ・パヴロバ野外舞踊大会（日比谷野外音楽堂）
1926.09.01-30	宝塚歌劇団花組「真夏の夜の夢」振付＝榎茂都陸平
1926.10.09-10	岩村和雄舞踊会第1回公演（築地小劇場）
1926.10.26-31	デニション舞踊団公演（帝国劇場）「孔雀物語」「慈悲観音」他 出演＝テッド・ショーン ルース・セント・デニス ドリス・ハンフリー チャールズ・ワイドマン 等
1926.11.28	岩村和雄舞踊会第2回新舞踊公演（日本青年館）「ケーキ・ウォーク」「朝」他
1926.11.01-30	エレナ・オソフスカヤ、宝塚劇場で宝塚歌劇団雪組による「プリンス・イゴール」（日本初演）振付＝フォーキン
1926.12.08	小森敏舞踊公演（パリ、サロン・ドートンヌ）「猩々」「ケークウォーク」他
1927年（昭和2年）	
1927.02.01-28	宝塚歌劇団月組「時の経過」振付＝榎茂都陸平
1927.03.21	岩村和雄舞踊会渡欧告別舞踊公演（日本青年館）
1927.08.01-31	宝塚歌劇団「ドナウの流れ」振付＝榎茂都陸平
1927.09	宝塚歌劇団花組、レビュー「モン・パリ」初演
1927.10.23	執行正俊第1回作品発表舞踊会（本郷帝大仏教青年館）
1927.12.04	岩村和雄新作発表舞踊会（国民講堂）
1927.12.09-10	石井漠舞踊詩発表会（市村座）「アニトラの踊り」他 出演＝石井漠 石井小浪 石井栄子 崔承喜 等
1927.12.17	舞踊芸術協会主催第1回近代舞踊総合大会（時事講堂）出演＝執行正俊 与世山彦士 辻蘭子 等
1927.04.25	石井漠著「舞踊の本質と其創作法」（人文会出版部）
1928年（昭和3年）	
1928.04.12-16	石井漠舞踊団公演イブセン100年祭記念（帝国ホテル演芸場）「パールギェント」「迦摩」他 出演＝石井漠 石井小浪 石井栄子 崔承喜 等
1928.09.30	石井小浪第1回舞踊公演（日本青年館）照明＝遠山静雄 大庭三郎 出演＝石井小浪 上田桃子（谷桃子） 等
1928.10.01-25	ルース・ページ舞踊団公演（帝国劇場）「お転婆娘とラグビー選手」「ブルース」「エジプトの踊（歌劇アイダより）」他 出演＝ルース・ページ エドウィン・ストローブリッジ 等
1928.10.27	山田五郎帰国披露舞踊公演（日本青年館）「ピチカット」「京の四季」「仏陀」「円舞」他
1929年（昭和4年）	
1929.01.26-30	ラ・アルヘンティーナ（アントニア・メルセ）スペイン舞踊公演（帝国劇場）
1929.05.17	第2回山田五郎新作舞踊公演（日本青年館）「猩々」他
1929.05.29	故高田雅夫音楽葬（日本青年館）

1929.06.01-30	宝塚歌劇団月組、「サーカス」振付＝岩村和雄、「ドナウの漣」振付＝榎茂都陸平
1929.06.30	故高田雅夫を偲ぶ舞踊と映画の夕べ（大隈講堂）出演＝原せい子 江口隆哉 宮操子 彭城秀子 等
1929.08.31	故高田雅夫追悼舞踊祭（松竹楽劇部の報恩）（日比谷音楽堂）「亡き師の君に捧ぐ」他 出演＝原せい子 石井漠 益田隆 堺千代子 エリアナ・パヴロバ 等
1929.09.20	石井小浪第1回自作新舞踊発表会（日本青年館）「森の中の出来事」「遊戯」「日本のメロディ」他 石井小浪 上田桃子（谷桃子） 等
1929.11.09	原せい子改姓披露 高田せい子新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「亡き夫を偲びて」他
1929.12.--	石井漠舞踊団公演
1929.--.--	石井漠、視力低下
1930年（昭和5年）	
1930.04.29	橘秋子、エリアナ・パヴロバに師事
1930.05.24	故高田雅夫追悼舞踊会 高田せい子・高田舞踊研究所新作発表会（日比谷公会堂）出演＝高田せい子 江口隆哉 宮操子 彭城秀子 平岡次郎（平岡斗南夫） 等
1930.08.--	宝塚歌劇団、レビュー「パリゼット」 白井鐵造の帰朝第1回作品として上演 主題歌＝スマイレの花咲く頃
1930.10.06-07	石井漠舞踊公演無言詩劇（日本青年館）「人間礼讃」
1930.10.08	山田耕柞楽壇生活25年祝典演奏会舞踊の夕（日比谷公会堂）「明暗（後の明闇）」他 出演＝石井漠一門、「芥子粒夫人」出演＝高田せい子一門、その他に 藤蔭静枝（初代） 花柳珠実
1930.12.03	新進舞踊家競演の夕（時事講堂） 石井栄子 江口隆哉 宮操子 等
1930.--.--	東勇作、エリアナ・パヴロバに師事
1930.--.--	村松道弥編集「音楽新聞」創刊
1931年（昭和6年）	
1931.01.27-30	サカロフ夫妻舞踊公演（帝国劇場）「プレリユードとフーガ」「ゴリウォーグのケークウォーク」他 出演＝アレクサンドル・サカロフ クロチルド・サカロフ
1931.02.08	高田舞踊団公演（日比谷公会堂）「ノーチの娘」他
1931.02.17-18	サカロフ夫妻 アンナ・パヴロワ追悼公演（日比谷公会堂）
1931.02.01-28	宝塚歌劇団雪組「裸山の一夜」振付＝榎茂都陸平
1931.02.--	河上鈴子帰朝舞踊公演（日比谷公会堂）
1931.03.06-13	河上鈴子舞踊公演（浅草大勝館）「サロメダンス」「スパニッシュダンス」他
1931.04.21-22, 29-30, 05.01	伊藤道郎舞踊団帰朝第1回公演＝朝日新聞社主催（東京朝日講堂、大阪朝日会館、京都朝日会館）「ソナタ」作曲＝ベートーベン、「魂の誕生」「悲劇」「友情」「喜び」作曲＝シューマン、他 出演＝伊藤道郎 ヘーゼルライト・イトウ ヤーデス・フルー 等
1931.05.03	伊藤道郎舞踊団公演（帝国劇場）
1931.05.14	伊藤道郎渡米告別公演（日比谷公会堂）
1931.05.24	第4回高田せい子新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「祈念」「アヴェマリア」「踏絵」他 出演＝宮操子 江口隆哉 小澤恂子 平岡次郎（平岡斗南夫） 等

1931.10.15	山田五郎新作発表舞踊会（日本青年館）「猩々」他
1931.11.28	第5回高田せい子新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「無邪気」「タキノシライト」「陽光をあびて」、「死の舞踏」出演＝江口隆哉 宮操子 他
1931.12.06	第23回藤蔭会公演（日比谷公会堂）「巴里戦士のパイプ」「思い出のシリーズ」作＝北里拓也 振付＝藤蔭静枝（初代） 装置＝三林亮太郎 照明＝遠山静雄 出演＝藤蔭静枝（初代） 藤蔭嘉子（岡田嘉子） 藤田繁 堺千代子
1931.12.--	江口隆哉・宮操子夫妻、11月に結婚し渡米
1932年（昭和7年）	
1932.--.--	エリアナ・パヴロバ、七里ガ浜にバレエスクールを建設
1932.01.17	高田せい子舞踊団新春公演（日比谷公会堂）「虐げらるる者に栄光あれ」「無邪気」「マイムナウ」「聖園」他
1932.01.26-31	テレジーナ・ボロナート舞踊公演（東京劇場）スペインより来日 ギター奏者カルロス・モントーヤ伴奏により日本に初めてフラメンコが紹介された
1932.04.18	平岡次郎（平岡斗南夫）第2回作品発表会（内幸町仁寿講堂）「タランテラ」他 出演＝高田せい子 彭城秀子 等
1932.04.30	世界民族舞踊大会（日比谷公会堂）出演＝高田せい子 石井漠舞踊団 等
1932.05.04	石井漠新作舞踊公演（日比谷公会堂）「プレリュード」「囚われたる人」他 出演＝石井漠 石井みどり 石井栄子 石井カンナ 等
1932.05.23	沢モリノ舞踊公演（日本青年館）出演＝沢モリノ 高田舞踊団 石井漠 石井カンナ 等
1932.05.28	高田舞踊団第6回新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「釈迦」原作＝大泉博一郎 作曲＝篠原正雄 出演＝高田せい子 根津幸夫 平岡斗南夫 等
1932.07.03	パリのアルシーブ・アンテルナショナル・ド・ラ・ダンス主催 振付競技会（パリ、シャンゼリゼ劇場）「グリーン・テーブル」振付＝クルト・ヨースが1位となる
1932.07.25-08.20	新村英一、イギリスのバクストン第1回夏期舞踊学校にアメリカ選出の教師として、ルース・セント・デニスとともに選ばれる。1936年までパリを拠点として活動
1932.11.04	石井栄子舞踊公演（日本青年館）「三つの塊」「かたつむりと雨」「火の巫女の踊」他 出演＝石井栄子 石井みどり 等
1932.11.05	石井漠新作発表舞踊会（日本青年館）「人間軌道」「望みをよせて」「マスク」他 出演＝石井漠 石井みどり 石井栄子 等
1932.11.19	高田舞踊団公演（協和会館）「ノーチの娘」「剣の舞」他 出演＝高田せい子 彭城秀子 平岡斗南夫 等
1932.11.22	石井漠 1932年度新作舞踊公演（日比谷公会堂）「暴風雨のあと」「金魚」「ダンス・オングロアス」「ミンストレル」他 出演＝石井漠 石井栄子 石井みどり 等
1932.12.10,17	新村英一、パリで第1回公演（ビュー・コロンビア劇場）「江戸の雨」作曲＝山田耕筰、「宇宙詩・永遠の生命」「回教のフリーズ」「修道士」「エチュード」他
1932.--.--	新舞踊家聯盟発足（石井漠 高田せい子 エリアナ・パヴロバ 河上鈴子 山田五郎 藤田繁 堺千代子 執行正俊 福井茂 藤蔭静枝 花柳珠実 等）
1932.--.--	小牧正英、ハルピンのバレエ学校に入学、キャトコフスカヤらに師事

1932.--.--	松尾明美、松竹音楽舞踊学校入学
1932.--.--	蘆原英了、ヨーロッパへ
1932.--.--	執行正俊、ドイツより帰国
1932.11.20	光吉夏弥「現代の舞踊」（岩波講座「世界の文学」第一回配本）岩波書店
1932.--.--	石井漠「舞踊体操」玉川学園出版部
1933年（昭和8年）	
1933.01.08	邦正美第1回無音楽舞踊発表会（日本青年館）
1933.01.--	橘秋子、（1932年にエリアナ・パヴロバ舞踊団を退団）独立し橘バレエ研究所を杉並区大宮前に開設
1933.03.08-23	新村英一、第1回東欧公演
1933.03.18	新舞踊名流大会 都新聞社主催（日比谷公会堂）出演＝石井漠 石井小浪 山田五郎 執行正俊 高田せい子 石井みどり 等
1933.04.26-30	スペインからグラナドス来日公演（東京劇場）
1933.05.18	高田せい子新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「静湖」「可愛い世界」他 美術＝河野鷹思 出演＝高田せい子 益田隆 平岡斗南夫 小澤恂子 等
1933.05.20	近代女流舞踊大会（日本青年館）崔承喜 等
1933.07.01	エリアナ・パヴロバ帰化記念謝恩大舞踊会（蚕糸会館）
1933.09.23	石井小浪舞踊公演（日比谷公会堂）「月光の曲」他 石井小浪 等
1933.09.24	石井栄子第1回作品発表会（日本青年館）舞踊劇「キキ・ミミ物語」「地に捧ぐ」「スペイン夜曲」「森の道化者」他
1933.09.26-12.19	新村英一第2回北欧・東欧公演「支那の陶器」「牽牛と織女」他
1933.10.13	河上鈴子新作舞踊発表会（日本青年館）「＋」「エスパノラ」「ダンス・ポエム」「カタラ」舞踊劇「ファウスト」他
1933.10.17	檜健次新作舞踊発表会（朝日講堂）
1933.10.22	石井漠舞踊団公演（日比谷公会堂）「燕尾服をつけた東京」「魅へる新世界」「ハンガリアン・ラブソディー」「童踊」「スペイン夜曲」他 出演＝石井漠 榎本梢 雁金貞子 石井みどり 石井笑美子 崔承喜 等
1933.10.28	栗島すみ子踏紅会第4回舞踊会（朝日講堂）「青蛾」「夜想曲」
1933.10.28	津田信敏第6回新作発表会（蚕糸会館）「道化師の哀傷」「あらし」他
1933.11.04	高田せい子第8回新作発表会（日比谷公会堂）「戦争」「舗道」「金魚」「仮面の舞」「郭公」他 出演＝高田せい子 矢野文子 平岡斗南夫 等
1933.11.05	益田隆・梅園龍子小品舞踊会（飛行館）「道化者の恋」「あでびと」「秋のバレエ」「情熱と力」
1933.11.25	執行正俊第2回新作舞踊発表会（築地小劇場）舞踊劇「コッペリア」2幕 「街道への序曲」「魅るユダ」「祭典」「パヴァーヌ」他
1933.11.28	邦正美新作舞踊発表会（仁寿講堂）「創世記」「鈴を盗む男」「安定装置」「影のない女達」他
1933.12.03	藤蔭会第28回公演（日比谷公会堂）「トゥランドット姫」他 出演＝藤蔭静枝（初代） 山田五郎 等

1933.12.08	時事新報主催大舞踊祭（日比谷公会堂）「プリズム 1933 年」石井漠，「ペトリウの丘」高田せい子，「バレエ・プラン」益田隆，他に邦正美 福井茂 河上鈴子 石井栄子 エリアナ・パヴロバ 等の作品
1933.12.14	合同舞踊公演（両国国技館）邦正美 河上鈴子 高田せい子 エリアナ・パヴロバ 等
1933.12.24	エリアナ・パヴロバ舞踊団新作発表クリスマス公演（蚕糸会館）
1933.12.--	蘆原英了、ヨーロッパより帰国
1933.01.01	西川忠弘編「舞踊評論」舞踊評論社
1933.04.12	石井漠「舞踊芸術」玉川学園出版部
1933.11.01	石井漠編「舞踊日本」舞踊日本社 創刊
1933.12.10	中村秋一「レビューと舞踊」三笠書房
1933.--.--	「週刊 音楽新聞」1936年に「音楽新聞」として復刊
1933.--.--	古澤武夫編「舞踊世界」
1934年（昭和9年）	
1934.01.16	橘秋子舞踊公演（日比谷公会堂）「煩惱への挑戦」「信号」他 振付＝橘秋子
1934.03.24	江口隆哉・宮操子帰朝第1回舞踊会（朝日講堂）「懊惱より悟道へ」「手術室」他 出演＝江口隆哉 宮操子
1934.03.26	都新聞社主催名流舞踊大会（日比谷公会堂）「希望を抱いて」「燕尾服を着た東京」他 石井漠舞踊団，「舗道」「晩鐘」他 高田せい子舞踊団，「習作No.1」「タンゴ」他 江口隆哉 宮操子，その他に河上鈴子 花柳寿美 藤田繁 藤蔭静枝（初代）等 照明＝松崎国雄
1934.03.29-04.25	ボーデンヴィーゼル・ウィーン芸術舞踊団公演（帝国劇場）「スラブの歌」「悪魔の機械」「夢遊病者」「オリンピックの競技」「金の輪」他 出演＝ロダ・ハマラ ゲルトルート・ボーデンヴィーゼル 等
1934.04.26-05.02	江口隆哉・宮操子帰朝舞踊公演（日本劇場）「手術室」「タンゴ」他
1934.04.26-05.14	ハラルド・クロイツベルク、ルース・ページ舞踊公演（東京劇場，軍人会館）「3つの狂態」「帝王の踊り」他
1934.05.10	邦正美舞踊団公演（日本青年館）「喧嘩」「人間の詩」「夜の唄」「ガソリン」他
1934.05.20	檜健次新作舞踊発表会（朝日講堂）
1934.05.24	高田せい子第9回新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「弥撒」作曲＝ベートーベン，「夢の桃太郎」作曲＝山田耕筰 他に「生の斗争」「シシリアーナ」「若き日のクレオパトラ」「マグダラのマリア」
1934.05.31	橘秋子第1回発表会（日本青年館）「チゴインェルワイゼン」「原始人の感情」「水仙」「火祭の踊り」「路傍」「魔王」他
1934.06.03	益田トリオ（益田隆 東勇作 梅園龍子）春季公演（朝日講堂）「乙女」「アラビアの詩」「バックナール」「バレエ・エピソード」他
1934.09.16-22 3回公演	アメリカの舞踊家ラ・メリ、インドの舞踊家ラム・ゴパールと共演
1934.09.20	崔承喜作品第1回舞踊発表会（日本青年館）「剣の舞」他

1934.09.22	石井小浪新作舞踊発表会（日本青年館）「謝肉祭」「コケット」「再会」「千鳥」「スフィンクス」他
1934.09.23-29 (5日)	サカロフ夫妻舞踊公演（日比谷公会堂）「デルフの舞姫」「ゴリウォーグのケーキウォーク」「ゴヤに寄せて」他
1934.09.30 -10.12 (7日)	サカロフ夫妻関西舞踊公演（名古屋市公会堂、京都市公会堂、大阪朝日会館、旧関西学院講堂など）
1934.09.--	舞踊家倶楽部発足 石井漠 高田せい子 河上鈴子 江口隆哉 宮操子 花柳寿美（初代）吾妻春枝（徳穂） 藤蔭静枝（初代）が参加
1934.10.07	秋の舞踊祭（日本青年館）出演＝エリアナ・パヴロバ 田沢千代子 梅園龍子 河上鈴子 崔承喜 山田五郎 等
1934.10.28	津田信敏新作舞踊発表会（日本青年館）「不具者」「死刑場」他
1934.11.06	江口隆哉・宮操子第2回新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「都会」他 出演＝江口隆哉 宮操子 江口乙矢 大野一雄 武内正夫 等
1934.11.14	邦正美新作舞踊発表会（飛行館）「秋の悲歌」「点火」「交叉点」他
1934.11.23	檜健次第3回新作舞踊発表会（蚕糸会館）「菊花瑞想譜」「秋のおもざし」他
1934.12.07	第30回藤蔭会公演（日比谷公会堂）「苺とパイプ それから火ある女の生涯」振付＝藤蔭静枝（初代） 美術＝三林亮太郎 指揮＝紙恭輔 演奏＝PCL管弦楽団 出演＝藤蔭静枝（初代） 山田五郎 等
1934.12.08	エリアナ・パヴロバ新作発表会（蚕糸会館）「秋の幻想」「ポエム～十字架の前」「紅葉狩」他
1934.12.13	ラム・ゴパール公演（明治生命ホール）
1934.11.25	東京音楽新聞社「昭和10年度版舞踊年鑑」東京音楽出版協会
1935年（昭和10年）	
1935.03.10	春の舞踊祭（銀座松坂屋）出演＝山田五郎 執行正俊 高田せい子 石井小浪 河上鈴子 石井漠 江口隆哉 宮操子 益田隆 等
1935.03.10	高田せい子新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「水の戯れ」「唐草模様」「サロメ」「未完成交響曲」他
1935.03.16	都新聞社主催第3回新舞踊名流会（日比谷公会堂）出演＝石井漠 石井小浪 高田せい子 江口隆哉 宮操子 花柳寿美（初代） 西崎緑（初代） 藤蔭静枝（初代） 等
1935.04.14	津田信敏舞踊公演（日本青年館）「小さな習作」「黄金幻境」他
1935.04.27	橘秋子第2回新作舞踊発表会（蚕糸会館）「破戒の感情」「夢」「都会狂詩賦」他
1935.09.27	石井みどり第1回創作舞踊発表会（日本青年館）「果てしない幻覚」「三つのテーマ」他
1935.09.24	石井小浪新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「焦燥」「奇怪な昆虫」他 出演＝石井小浪 上田桃子（谷桃子） 等
1935.09.29	檜健次作品発表会（日比谷公会堂）「扇の舞」「法悦」他
1935.10.07	山田五郎新作舞踊公演（仁寿講堂）「京の四季」「祈願」他
1935.10.22	崔承喜新作発表会（日比谷公会堂）「王の舞」「生贄」他

1935
}
1936

1935.10.17-1936.02.28	新村英一欧州横断公演第2回（ドイツ、ハンガリーなど）「愛の夢」「スケルツォ」「呪文」他
1935.10.--9	友井唯起子、石井漠舞踊研究所大阪支部に入り法村康之の教えるを受ける
1935.11.07	河上鈴子新作発表会（軍人会館）「ボレロ」「夢」「狂った歯車」他
1935.11.12	江口隆哉・宮操子第3回新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「スカラ座のまり使い」「物体舞踊」他
1935.11.21-22	石井漠舞踊団新作発表会（日比谷公会堂）「奇妙なアラベスク」他
1935.11.26	益田トリオ（益田隆 東勇作 梅園龍子）新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「律動短詩」「日輪草」他
1935.11.28-12.06（5日間）	スペイン舞踊家マヌエラ・デル・リオ舞踊公演（日比谷公会堂）
1935.11.28	エリアナ・パヴロバ舞踊団秋季発表会（蚕糸会館）「天国に遊ぶ」「トンボ」他
1935.12.15	藤蔭会第34回公演 藤蔭静枝作品展（日比谷公会堂）「白昼夢」「曙光」他
1935.03.31	河上鈴子発行 機関紙「カスタネット」
1935.04.--	石井順三編 雑誌「舞踊芸術」創刊
1935.05	蘆原英了編「舞踊新潮」創刊
1935.10.09	江口隆哉 パンフレット「新興舞踊」創刊
1935.12.16	蘆原英了「現代舞踊評話」西東書林
1936年（昭和11年）	
1936.01.17	邦正美新作発表会舞踊公演（軍人会館）「点火」「脱走者」「キュービズム」他
1936.03.28-04.22	崔承喜満州公演
1936.03.31	趙沢元第1回舞踊発表会（日本青年館）「プレパレイション」「クックオリ」「僧舞の印象」「晩鐘」他
1936.05.03	石井みどり独立第1回公演（日本青年館）「伽藍」「三つのテーマ」他
1936.05.17	石井漠舞踊デモンストレーション（日比谷公会堂）「狂へる動き」「西風の見たもの」他
1936.08.20-28	満州音楽会主催江口隆哉・宮操子（第1回満州）舞踊公演（大連、奉天、新京など）「手術室」「タンゴ」「習作 No. 1」「スカラ座のまり使い」他
1936.09.22-24	崔承喜新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「妨げられしセレナーデ」「日本の幻想」他
1936.09.26	石井小浪新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「木枯は呼ぶ」「燃え上がる心」「光を失へる魂」他
1936.10.06	高田せい子新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「お伽の国」「秋の木の実」「祭典」他 出演＝高田せい子 小澤恂子 彭城秀子 等
1936.10.15	河上鈴子新作舞踊発表会（日本青年館）「クレオパトラの幻想」「聖火に競う」「射たれた白鳥」他
1936.11.02	江口隆哉・宮操子新作（群舞）舞踊会（日比谷公会堂）「カリカチュア二題」,「都会9景」（改訂再演）
1936.11.29	エリアナ・パヴロバダンスリサイタル（蚕糸会館）「悪魔」「瀕死の白鳥」「仮装舞踏会」他 出演＝エリアナ・パヴロバ 貝谷八百子 等

1936
}
1937

1936.12.22	朝日新聞社主催女流舞踊の夕（日比谷公会堂）石井小浪舞踊団 石井みどり舞踊団 江口・宮舞踊団 崔承喜舞踊団 高田せい子舞踊団
1936.--.--	オリガ・サファイア、外交官の清水威久と結婚して来日、日劇ダンシング・チームの教師となる
1936.--.--	松山樹子、日劇ダンシング・チームに入りオリガ・サファイアの教えるを受ける
1936.08.08	石井漠「子供の舞踊」フレーベル館
1937年（昭和12年）	
1937.01.17,24,25	新村英一帰米第1回公演（ニューヨーク）「会話」「風のリズム」他
1937.01.28-03.24	新村英一北米巡演（フィラデルフィア、ボストン、カナダ、キューバなど）
1937.02.04	日本舞踊連盟創立 理事長＝山本久三郎 理事＝石井漠 藤蔭静枝 花柳珠実 高田せい子 小森敏 江口隆哉 光吉夏弥 三林亮太郎
1937.02.17-21	江口・宮群舞団 第2回満州公演（大連 他）「スカラ座のまり使い」「タンゴ」他
1937.04.02-05	大阪朝日新聞社事業団主催江口隆哉・宮操子群舞公演（大阪朝日会館、京都朝日会館、名古屋朝日会館）「カリカチュア二題」「都会9景」他
1937.04.02-08（4日間）	スペイン舞踊家クキタ・ブランコ舞踊公演（日比谷公会堂）
1937.04.--	友井唯起子、法村康之結婚、法村・友井バレエ団を結成
1937.05.14	益田トリオ（益田隆 梅園龍子 東勇作）新作発表会（日比谷公会堂）「白のバレエ」「情熱」「バラの精」他
1937.05.--	新村英一、カーネギーホール・スタジオ 60・61 に居を構える。このスタジオは、その後1940年にアントン・ドーリンを教師とするバレエ部門の設立を機に「バレエ・アート＝ニムラスタジオ」と称す。歴代の主な教師はドーリン、チューダー、ダニロワ、ミア・スラベンスカ等
1937.06.12	津田信敏渡欧告別舞踊会（日本青年館）津田は7月に渡欧
1937.06.30	エリアナ・パヴロバ帰化が正式に許可。日本名霧島エリ子となる。ナデジタは霧島撫子（なでしこ）。
1937.07.07-25（7日間）	名流舞踊競演の夕（田園調布読売大庭球場）出演＝江口隆哉 宮操子 林きむ子 エリアナ・パヴロバ 花柳珠実 河上鈴子 高田せい子 益田隆 藤間勘素娥 藤蔭静枝 花柳寿美
1937.08.08	財団法人大日本文化中央聯盟発足 会長＝酒井忠正伯爵
1937.08.--9	東勇作、オリガ・サファイアの相手役として日劇の「ロシア・バレエの試み」に出演
1937.09.16,20,22	アメリカのラ・メリ来日し講演とスペイン舞踊、メキシコ舞踊、印度舞踊他を見せる（日比谷公会堂）ラム・ゴパールを同伴
1937.09.21	寒水多久茂第1回創作舞踊発表会（日本青年館）「プリズム 1933」「午前2時」「狂へる動き」他
1937.09.27-29	崔承喜渡欧告別新作舞踊発表会（東京劇場）「金剛山雙曲」「菩薩の国」「玉水を浴びて」他
1937.10.14	江口隆哉・宮操子舞踊公演（日比谷公会堂）「南方十字架（サウザンクロス）」他 作曲＝深井史郎
1937.10.15	石井小浪舞踊新作発表会（日比谷公会堂）「銀河はまねく」「パントマイム」他

1937.11.27	小森敏舞踊公演（軍人会館）「音の流れⅠ・Ⅲ」「諧謔調」「不思議の森の物語」他
1937.11.22	高田せい子第14回新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「月明」「三つの感情」高田せい子、「アッサムの巫女」小澤恂子 等
1937.12.05	石井漠 舞踊37年デモンストレーション（日本青年館）「突撃」「戦線は呼ぶ」「胡桃割人形」他 出演＝石井漠 寒水多久茂 大野弘史 石井カンナ 石井不二香 和井内恭子 等
1937.12.05	崔承喜渡米特別公演（日比谷公会堂）「舞女」「人形は踊り出す」「アリランに寄す」他
1937.12.07-08	石井漠舞踊団新作発表会（日本青年館）「戦争」他
1937.12.13	ラム・ゴパール舞踊公演（明治生命ホール）「シバ神」「カタクダンス」他
1937.--9.--	太刀川瑠璃子、小澤恂子に師事
1938年（昭和13年）	
1938.01.16	高田せい子舞踊研究所新春の集い（伊勢丹ホール）「火祭りの踊」他 出演＝平岡斗南夫 等
1938.02.19	河上鈴子 横浜から北米、中南米巡業へ
1938.04.16	石井（後の鳳）久子舞踊第1回発表会（軍人会館）「悦びの使者」「黄塵」他
1938.03.26-27	武人源義経公七百五十年祭記念 烈婦「静」を偲ぶ大舞踊祭（新橋演舞場）出演＝小森敏 石井みどり 津田信敏 津田瑛子 江口隆哉 宮操子 高田せい子 石井漠 等
1938.04.13-28	石井みどり舞踊研究所軍慰問公演（彰徳、北京、天津など）「故郷」「佐渡おけさ」石井みどり 等
1938.04.29	石井漠舞踊研究所記念公演（日本青年館）日本最初の舞踊学校開校 校長に石井漠
1938.04.29	牧幹夫、インド留学 横浜より渡航
1938.06.01	檜健次芸術舞踊転向リサイタル（仁寿講堂）
1938.06.05	津田信敏・瑛子帰国第1回舞踊公演（日本青年館）「蛇性の踊り」「狂人の踊り」「彫像の倒れる時間」他
1938.06.09	橘秋子産業舞踊発表会（日本青年館）「江東の煙」「蕃地の月」他 出演＝橘秋子舞踊団、エリアナ・パヴロバ舞踊団
1938.07.03	愛国銃後会公演（日比谷公会堂）「生の闘争」他 高田せい子等、「飛行機」「戦車」他 石井漠等、「ブローヌの森」他 エリアナ・パヴロバ等、「アラビアン・ナイト」貝谷八百子 等
1938.10.20-26	江口・宮舞踊劇場旗上げ公演（帝国劇場）「麦と兵隊」（全8景）出演＝江口隆哉 宮操子 江口乙矢 大野一雄 大芝信 奥田敏子 等
1938.11.05	高田せい子第15回新作舞踊発表会（日比谷公会堂）「気象3部曲」他 美術＝河野鷹思 照明＝松崎国雄
1938.11.05	石井小浪秋期新作舞踊発表会（日本青年館）「花園の饗宴」「哄笑」「感謝の祈祷」他
1938.11.08	趙沢元創作舞踊発表会（日比谷公会堂）「ポエム」「アリラン幻想曲」他
1938.11.28-29	貝谷八百子舞踊公演（歌舞伎座）17才でデビュー 「交響曲第5番（新世界）」「杏花村」「美しき森」構成・演出＝内田岐三雄 河合信雄 白井鐵造 作曲＝深井史朗 服部正 等 装置＝三林亮太郎 等 出演＝貝谷八百子 東勇作 エリアナ・パヴロバ 等
1938.--.--	松尾明美、日劇に入団、オリガ・サファイアの教えを受ける

1938.--.--	石井漠「舞踊の基本と創作」シンフォニー楽譜出版
1939年（昭和14年）	
1939.02.01-14	益田隆舞踊公演（大阪北野劇場）「南十字星」「輝く日劇」衣裳＝真木小太郎 装置＝三林亮太郎 出演＝益田隆 日劇ダンシングチーム 等
1939.02.09	都新聞社主催第1回舞踊コンクール（日比谷公会堂）予選（上野松坂屋ホール）に200余組参加
1939.03.--	舞踊家倶楽部（洋舞・邦舞の連絡グループ）発足 石井漠 高田せい子 河上鈴子 江口隆哉 宮操子 花柳寿美 吾妻春枝 藤蔭静枝
1939.04.02	津田信敏舞踊公演（日本青年館）「ノイロン模型」他 照明＝穴沢喜美男 出演＝津田信敏 津田瑛子 津田郁子 等
1939.04.04	現代舞踊家集団第1回公演（仁寿講堂）出演＝石井みどり 花月達子 田沢千代子 津田信敏 津田瑛子 執行正俊 檜健次 等
1939.04.20	檜健次新作舞踊会（日本青年館）「枯蘆」他 出演＝檜健次 葉桐寿美枝 古河愛子 等
1939.05.20	故高田雅夫10年祭記念公演（日比谷公会堂）「無量寿の鐘」「ノーチガール」「土蜘蛛」他 出演＝高田せい子 等
1939.06.28-29	貝谷八百子バレエ劇場第2回公演（歌舞伎座）「シェヘラザード」「瀕死の白鳥」「霸王別姫」他
1939.08.31-09.09	日劇第5回ロシア・バレエ（日本劇場）「魔の山」演出・振付＝オリガ・サファイア 出演＝オリガ・サファイア 松山樹子 山中寿 等
1939.09.10-29	益田隆帰朝デビュー舞踊公演（日本劇場）「メキシコの旅」
1939.09.30	小澤恂子独立記念公演（軍人会館）「蜘蛛二題」他
1939.10.06	河上鈴子帰朝第1回舞踊発表会（日比谷公会堂）「輝けるスペイン」「闘牛の幻想」「ジプシーの悲哀」他
1939.10.31-11.30	日劇バレエ公演（日本劇場）「プリンス・イゴール」演出・振付＝伊藤道郎 振付＝益田隆 装置＝三林亮太郎 出演＝益田隆 山中寿 松山樹子 等
1939.11.01	第2回現代舞踊家集団公演（仁寿講堂）「酒樽の幻想」「芋虫の踊」他 照明＝松崎国雄 出演＝石井みどり 執行正俊 千葉みはる 檜健次 益田隆
1939.11.14	鳳（石井）久子第2回発表会（日比谷公会堂）「ダンス・エチュード」「ラグ・タイム」「展覧会の絵」他
1939.11.26-12.04 (5日間)	イトウ・ダンス・リサイタル（大阪朝日会館、京都朝日会館、軍人会館）「鷹の井戸」（日本初演）作＝イエーツ 老人＝イトウ・ミチオ（伊藤道郎） 鷹＝イトウ・テイコ 若者＝千田是也 音楽＝伊藤祐司 衣裳＝エドモンド・デュラック 装置・仮面＝伊藤熹朔
1939.11.28	ガーネット舞踊新作発表会（日比谷公会堂）「蝶々」「式典」「ユーモレスク」他
1939.12.20-28	益田隆帰朝デビュー公演（日本劇場）作・演出・振付＝三橋蓮子 出演＝益田隆 藤田繁 風久子等
1939.--.--	舞踊ベン倶楽部創立 会員60数名
1939.--.--	東勇作バレエ団結成、松尾明美等が参加

1940年(昭和15年)	
1940.01.11-13	趙沢元新作舞踊公演(日比谷公会堂)「鶴」他
1940.02.01	第3回現代舞踊家集団公演(日比谷公会堂)照明=松崎国雄 出演=石井みどり 執行正俊 千葉みはる 津田信敏 檜健次 小澤洵子 花月達子 平岡斗南夫 等
1940.02.11	紀元2600年奉祝芸能祭(神宮外苑)「出せ一億の底力」他 石井みどり 等
1940.03.17	都新聞社主催第2回舞踊コンクール(日比谷公会堂)
1940.03.27-29	貝谷八百子第3回舞踊公演(歌舞伎座)「村にて」「ウィーンの森の物語」「セレナーデ」他
1940.04.16	山田五郎ダンスリサイタル(軍人会館)「タンゴ」他
1940.05.02	石井みどりダンスリサイタル(日比谷公会堂)「越天楽」他
1940.05.21	皇紀2600年奉祝パヴロババレースクール春の舞踊発表(軍人会館)「ショピニアーナ」「ピチカット」「ボレロ」他主演=エリアナ・パヴロバ 貝谷八百子 橋秋子 笹田繁子 等
1940.06.03	田沢千代子帰朝舞踊公演(軍人会館)「モロ・イ・ヒターノ」「ホタ・ナバラ」他
1940.06.06	檜健次舞踊会(飛行館)「三つの夢の分析」「郷愁」「夜の闇を駈ける騎士」他
1940.06.12	津田信敏現代舞踊公演(日本青年館)「戦場」「斜線」他 照明=穴沢喜美男 出演=津田信敏 津田瑛子 津田郁子 等
1940.06.16	ガーネット舞踊会(軍人会館)「グランド・ポロネーズ」「春の祭典」他
1940.06.20	大日本舞踊聯盟発足 会長=藤間勘齋 相談役=花柳徳太郎 常任理事=花柳寿輔 石井漠 藤蔭静枝 渋井二夫
1940.09.27	紀元2600年奉祝芸能祭(帝国劇場)「富士縁起」藤蔭静枝(初代)
1940.09.30	紀元2600年奉祝芸能祭(東宝劇場)「創造」作曲=深井史朗 振付=江口隆哉、「東亜の歌」作曲=江文也 振付=高田せい子、「前進の脈動」作曲=高木東六 振付=石井漠
1940.10.15	河上鈴子舞踊公演(日比谷公会堂)「春の訪れ」他
1940.11.01-04	有楽座11月興行(有楽座)「プリンス・イゴール」他 演出・振付=伊藤道郎 益田隆 三橋蓮子 等 美術=三林亮太郎 真木小太郎 作曲=若山浩一 出演=益田隆 三橋蓮子 等
1940.11.09	石井小浪新作舞踊発表会(日本青年館)「動きの賛歌」「南の歌」他
1940.11.12	パヴロバ秋期舞踊発表会「白鳥の湖」を一幕仕立て上演
1940.12.23	石井漠新作舞踊公演(日比谷公会堂)「仏窟声明」「白い手袋」他
1940.---	小牧正英、上海のライシャム劇場付属のロシアン・バレエ団に入団
1940.---	法村・友井バレエ団公演の「カルメン」で友井唯起子デビュー
1940.---	松山樹子、東勇作バレエ団入団
1940.01	「舞踊ペン倶楽部」会報発刊
1940.---	石井漠「随筆・私の顔」モダン日本社
1940.---	「舞踊年鑑」(昭和15年度版)舞踊ペン倶楽部発刊
1941年(昭和16年)	
1941.01.18-23	日劇バレエ・東洋バレエ(日本劇場)「プリンス・イゴール(韃靼人の踊り)」演出・振付=伊藤道郎

1941.02.21-25	崔承喜舞踊公演(歌舞伎座)「三つの伝統的リズム」「普賢菩薩」「仮面の舞」他
1941.02.25,27	東勇作バレエ団第1回公演(日比谷公会堂)「レ・シルフィード」「牧神の午後」(日本初演)他 出演=松尾明美 中村笑子 等
1941.04.05	都新聞社主催第3回舞踊コンクール(日比谷公会堂)
1941.05.03	エリアナ・パヴロバ、南京の中央陸軍病院で病死(44歳)
1941.05.04	高田せい子春季舞踊公演(共立講堂)「心理表現集」「母」「女」「哀惜」他 装置=河野鷹思 照明=松崎国雄
1941.05.21-26	東宝舞踊隊公演(日本劇場)「南米小品」演出・振付=益田隆 装置・衣裳=真木小太郎
1941.05.27-06.03	東宝舞踊隊公演 南進レビュー(日本劇場)「ヤップ島」作=末永重明 演出・振付=益田隆
1941.05.28-29	藤蔭会第48回(25周年記念)公演(日比谷公会堂)「立正安国」作曲=小船幸次郎 美術=田中良 出演=藤蔭静枝(初代) 小森敏 山田五郎 藤田繁 等
1941.06.09	エリアナ・パヴロバ舞踊葬(蚕糸会館)主催=大日本舞踊連盟
1941.06.17	故エリアナ・パヴロバ女史追悼舞踊会(軍人会館)主催=パヴロバ舞踊研究所 出演=服部智恵子 緒方玲子(近藤玲子) 貝谷八百子 東勇作 藤田繁 等
1941.11.01	藤蔭美代枝舞踊公演(日比谷公会堂)「台湾歴史歌」他 演出=河合信雄 作曲=宇賀神味津男 美術=伊藤寿一 照明=大庭三郎 出演=藤蔭美代枝 藤田繁 等
1941.11.26-27	東勇作、「ジゼル」初演100年を記念してショパンの曲による「ジゼル幻想」を発表(東京劇場)
1941.11.30	寒水多久茂第3回舞踊発表会(軍人会館)「女三人」「情熱と性格」「支那芝居の印象」他
1941.12.02-25(3日間)	日本文化中央聯盟主催第1回創作舞踊コンクール(日比谷公会堂、軍人会館、日本青年館)「大和」大野弘史、「智・仁・勇」益田隆、「魂の叫び」彭城秀子
1941.12.10	石井漠舞踊団軍慰問公演(満州国黒河周辺)
1941.12.19	津田信敏舞踊公演(日本青年館)「意力」「自我」「虚栄」他 照明=穴沢喜美男 出演=津田信敏 津田瑛子 津田郁子 等
1941.12.25	大野弘史独立第1回舞踊発表会(日比谷公会堂)「大和」
1941.08.30	江口隆哉「歩く」目黒書店
1941.10.20	中村秋一「ドイツ舞踊文化」人文閣
1942年(昭和17年)	
1942.01.30-31	東勇作バレエ団第3回公演(日比谷公会堂)「セレナーデ」作曲=モーツァルト、「バラの精」「牧神の午後」指揮=マンフレッド・グルリット 演奏=東京交響楽団
1942.02.---	薄井憲二、東勇作に師事
1942.02.11	益田隆舞踊研究所公演(日比谷公会堂)「智・仁・勇」他
1942.04.12	都新聞社主催第4回舞踊コンクール(日比谷公会堂)
1942.04.28	津田グループ舞踊公演(飛行館)「或る動き」「女心」照明=松崎国雄 出演=津田郁子 等
1942.05.23	高田せい子新作舞踊公演(日比谷公会堂)「母に捧げる詩」「蒙疆三部曲」装置=河野鷹思 照明=松崎国雄 出演=高田せい子 彭城秀子 山田五郎 等

1942.05.25	江口隆哉・宮操子舞踊公演（帝国劇場）「緑の斜面」「わが碑文（いしぶみ）」「てびら鉦」「海軟風」他
1942.05.29-31	第3回東宝舞踊大会（帝国劇場）「プリンス・イゴール」演出・振付＝伊藤道郎 出演＝矢田茂 等
1942.05.30	石井みどり舞踊公演（有楽座）「寿代譜」「豊年踊」他
1942.07.28-29	石井みどり舞踊団公演（有楽座）「ハンガリア舞曲6番」他
1942.09.27	第1回現代舞踊展（飛行館）「地熱」「感情」他 照明＝松崎国雄 出演＝津田郁子 河上五郎 千葉躬春 等
1942.09.27	石井漠舞踊生活30周年記念公演（日比谷公会堂）
1942.10.07	芸術舞踊祭（日本青年館）「ローレライ」「サドコ」他 出演＝河上鈴子 橋秋子 横山公一 香取希代子 等
1942.10.07-08	合同舞踊新作発表会（軍人会館）「夜襲」「憧憬の森」「桐壺」「霊鼓」他 出演＝高田せい子 小森敏 山田五郎 花柳年之輔 等
1942.10.10	河上鈴子新作舞踊発表会（日本青年館）「闘牛士」他
1942.10.20	日本文化中央聯盟主催第2回創作舞踊コンクール（日比谷公会堂）「潮鳴り」石井カンナ,「海流」花柳小寿謳,「黎明の扇」大野弘史,「白蝶譜」花柳錦之輔,「みたみわれ」藤間勘園,「忠霊」彭城秀子
1942.10.25	彭城秀子創作舞踊試演会（飛行館）
1942.10.--	都（みやこ）新聞、「東京」新聞と改題
1942.12.03	津田信敏舞踊公演（日本青年館）「自我」「愛情」他
1942.12.06-20	崔承喜新作長期独舞公演（帝国劇場）
1942.12.19	石井不二香新作舞踊発表会（軍人会館）「長崎」作曲＝深井史郎
1942.12.20	芸術舞踊祭（日本青年館）「ボレロ」「クンパルシータ」他 出演＝檜健次 平岡斗南夫 横山公一 香取希代子 等
1942.02.10	蘆原英了「古典舞踊の基礎」小山書房
1942.12.10	S. リファール著 蘆原英了訳「舞踊美論」小山書店
1943年（昭和18年）	
1943.02.03	第1回津田信敏定期公演（日本青年館）「戦い」「同比」「倫理」照明＝松崎国雄 出演＝津田信敏 津田瑛子 津田郁子
1943.02.20	現代舞踊小劇場公演（日本青年館）檜健次 等
1943.02.--	貝谷八百子バレエ団第4回公演 「パリ島の月」他
1943.03.05-26	東宝舞踊大会（帝国劇場）「白いバレエ」「バレエ・ファウストより」他 出演＝益田隆 中村笑子 等
1943.03.14	小澤侑子第2回舞踊発表会（日比谷公会堂）「南方の兄を想いて」他
1943.03.30	音楽と舞踊の会（日比谷公会堂）「ワルツ」「チャルダス」他 出演＝オリガ・サファイア 島田廣 等
1943.03.30	エリアナ・パヴロバ追悼公演（日比谷公会堂）

1943.04.01	石井漠舞踊体育研究所公演（軍人会館）「海鳴り」照明＝穴沢喜美男 振付・出演＝石井漠 出演＝石井カンナ 等
1943.04.04	第2回津田信敏定期公演（日本青年館）「守銭奴」「粉飾伝統」他 照明＝穴沢喜美男 出演＝津田信敏 津田瑛子 津田郁子 等
1943.04.08-09	東勇作バレエ団第4回公演（東京劇場）「ジゼル幻想」曲＝ショパン,「愛の夢」「薔薇の精」その他小品を上演
1943.04.17	東京新聞社主催第5回舞踊コンクール（日比谷公会堂）
1943.04.20	第5回東宝舞踊研究会公演（大東亜会館）出演＝藤間勘園 藤蔭絃枝 藤蔭千枝 彭城秀子
1943.04.27	津田グループ公演（日本青年館）「感情」「女心1」他 照明＝松崎国雄 出演＝津田郁子 等
1943.05.05-16, 20-25	第1回帝国劇場歌劇公演（帝国劇場）「雪姫 4幕（スラヴの春の物語）」演出＝白井鐵造 振付＝清水オリガ（オリガ・サファイア）
1943.05.09	第2回合同舞踊新作発表会（日比谷公会堂）「双影」他 照明＝松崎国雄 美術＝伊藤寿一 出演＝高田せい子 小森敏 山田五郎 花柳年之輔 等
1943.06.03	第3回津田信敏定期公演（日本青年館）「心の祭」「独白」他 出演＝津田信敏 津田瑛子 津田郁子 等
1943.06.23	第10回東宝舞踊大会（帝国劇場）「白蝶譜」「鷹鎧」他 出演＝益田隆 中村笑子 等
1943.07.28-29	東勇作バレエ団公演（歌舞伎座）「第7交響曲」作曲＝ベートーベン
1943.10.03	第4回津田信敏定期公演（日本青年館）「家」「命」「熱情」他
1943.12.03	第5回津田信敏定期公演（日本青年館）「道締」「浄土」他
1943.12.11	ビルマ独立記念石井みどり舞踊団公演（日比谷公会堂）「海ゆかば」「惜春」「ビルマ・プエ」他
1943.12.--	伊藤道郎第2次交換船で米国より帰国
1943.--.--	服部智恵子、島田廣と服部・島田バレエ団を設立
1943.05.--	「舞踊芸術」を改題し「芸能」創刊
1943.12.15	小寺融吉「舞踊の歩み」三国書房
1943.09.07	石井漠「世界舞踊芸術史」玉川学園出版部
1943.--.--	尾崎宏次訳「瀕死の白鳥 アンナ・パヴロヴァ自伝」（丹青書房）
1944年（昭和19年）	
1944.01.27-02.15	崔承喜芸術舞踊公演（帝国劇場）「散調」他
1944.02.20	第6回津田信敏定期公演（日本青年館）「僧院」「地霊」「問罪」他 照明＝松崎国雄 出演＝津田信敏 津田瑛子 津田郁子 等
1944.04.01	石井カンナ第1回舞踊作品発表会（日比谷公会堂）「暴風雨のあと」「荒城の月」他 振付＝石井漠,「華麗なる円舞曲」「田舎娘」他 振付＝石井栄子 出演＝石井カンナ 寒水多久茂 等
1944.06.15-18	上海バレエ・リュス公演（ライセウム劇場）「ペトルーシュカ」小牧正英が主役を踊る
1944.--.--	服部・島田バレエ団旗揚げ公演

1945年(昭和20年)	
1945.07.--	上海バレエ・リュス公演(ライセウム劇場)「エスメラルダ」の詩人グランゴワール役を小牧正英が踊る
1945.--.--	小川亜矢子、東勇作に師事
1946年(昭和21年)	
1946.04.--	小牧正英、中国より帰国
1946.04.23	蘆原英了宅に東勇作、貝谷八百子、服部智恵子、島田廣、小牧正英が集まり、「白鳥の湖」の日本初演を決める
1946.04.25	貝谷八百子のスタジオに「白鳥の湖」日本初演のため、ダンサー達が集まり稽古が始まる
1946.05.--	小牧バレエ団創立
1946.07.06	江口乙矢・須美子舞踊団公演(帝塚山学院)「ルソンの弟へ」「夜明け」他
1946.08.09-25 (17日間)	東京バレエ団結成記念公演(帝国劇場)「白鳥の湖」(全幕日本初演)振付=小牧正英 美術=藤田嗣治 オデット=オディール=松尾明美/貝谷八百子 王子=東勇作/島田廣 ロットバルト=小牧正英 皇后=服部智恵子 等
1946.09.29-10.02	芸術祭主催第1回邦舞鑑賞会(帝国劇場) 出演=花柳寿輔 西川鯉三郎 武原はん 吾妻徳穂 等
1946.09.--	有馬五郎、小牧正英に師事
1946.09.--	関直人、小牧正英に師事
1946.10.08	東京新聞社主催現代舞踊名流の日(共立講堂) 出演=江口隆哉 宮操子 服部・島田バレエ団 高田せい子・山田五郎舞踊団 石井漠舞踊団 東勇作バレエ団
1946.10.27	江口乙矢・須美子舞踊団新作特別公演(大阪、毎日会館ホール)「道産子」「麦秋」「静寂」他
1946.11.29	服部・島田バレエ団公演(日比谷公会堂)「月光の曲」他 演出=服部千恵子 振付=島田廣 中川鋭之助 柴田善 松岡みどり 等
1946.12.07	奥田敏子第1回りサイタル(名古屋、名宝文化劇場)「女像」「肉体の詩」他
1946.12.12-24	東京バレエ団第2回公演(帝国劇場)「パガニーニ幻想」振付=小牧正英 出演=星野安子 谷桃子 等、「シェヘラザード」(日本初演) 振付=小牧正英 金の奴隷=東勇作 ソベイダ=貝谷八百子 等、「ジゼル幻想」振付=東勇作 出演=松尾明美 東勇作 松山玲子(松山樹子) 等
1946.12.17	津田信敏近代舞踊派舞踊公演(日比谷公会堂)「タンゴ」「18の椅子」他 照明=高橋秀宣 出演=津田信敏 津田瑛子 津田郁子
1946.03.10	ポール・モーラン著 岡田真吉訳「白鳥の死」(コバルト社)
1946.12.25	ニコライ・ヴォルコフ著 伊藤一郎訳「ソヴィエトの舞踊」霞ヶ関書房
1947年(昭和22年)	
1947.02.--	東宝音楽協会発足(会長=渋谷秀雄、代表=掛下慶吉) 東京バレエ団を専属とする
1947.02.10-23	小牧バレエ団・藤原歌劇団合同東宝公演(帝国劇場)「バラの精」他 バラの精=小牧正英 少女=谷桃子 等
1947.03.05-30	小牧バレエ団・藤原歌劇団合同オペラとバレエ公演(帝国劇場)「イゴール公」

1947.03.28-29	服部・島田バレエ団公演(日比谷公会堂)「七色の蝶」「レダの白鳥」他
1947.05.01	伊藤道郎舞踊公演(日比谷公会堂)「音の流れ」他 振付=伊藤道郎 出演=真木竜子 等
1947.05.10	大芝信・内田裕子舞踊公演(共立講堂)「ティムパニーによる習作」「まくら」「モルドウ」他 振付=大芝信 内田裕子 演奏=日本交響楽団 指揮=服部正 照明=松崎国雄 独唱=秋元清一 等
1947.05.18	東京新聞社主催合同舞踊公演 現代舞踊祭(日比谷公会堂) 出演=石井漠・石井カナ舞踊団 高田せい子・山田五郎舞踊研究所 江口・宮舞踊研究所 貝谷八百子舞踊団
1947.06.07	津田信敏近代舞踊派舞踊公演(大隈講堂)「異教徒」「風の足音」他 照明=土村浩衣 出演=津田郁子 等
1947.06.08	江口乙矢・須美子舞踊団舞踊公演(大阪、毎日会館)「緑のスロープ」他 出演=江口乙矢 江口須美子 等
1947.07.28	舞踊の夕べ合同公演(読売ホール)「ハンガリアン・ラブソディー」他 安藤三子(安藤哲子) 等
1947.09.11	津田信敏室内舞踊公演(美術会館)「離別」「マリア・マグダレーナ」他 照明=高橋秀宣 出演=津田信敏 津田郁子 等
1947.09.16	江口乙矢・須美子舞踊団舞踊公演(大阪朝日会館)「緑のスロープ」「静寂」他
1947.09.20	石井みどり終戦後第1回東京リサイタル(日比谷公会堂)「タンゴ」「お別れ」「野の羊」「越天楽」 出演=石井みどり 渡辺綾子 元藤明子(燦子) 等
1947.09.23	服部・島田バレエ団公演(日比谷公会堂)「七色の蝶」「月光の曲」他
1947.10.04-25	東京バレエ団第3回公演(帝国劇場)「コッペリア」(全幕日本初演) 振付=小牧正英 スワニルダ=貝谷八百子/谷桃子 フランツ=小牧正英 等
1947.11.08	高田・山田舞踊研究所新作発表会(日比谷公会堂)「愉しき哉」「甦る」他 出演=高田せい子 山田五郎 安藤三子(安藤哲子) 山田奈々子 佐藤祐子 等
1947.11.23	渥見利奈舞踊リサイタル(小田原市、御幸座)「三つの花」「たそがれの対話」 出演=渥見利奈 内田満里子(津田マリ子) 等
1947.11.30	朝日新聞社主催奥田敏子舞踊公演(名古屋、名宝文化劇場)「青い花」他 出演=奥田敏子 等
1947.11.30	毎日新聞社詩人祭(大阪、毎日会館)「われ今尚孤島にあり」 出演=江口乙矢 江口須美子 等
1947.--.--	太刀川瑠璃子、小牧バレエ団入団
1947.--.--	小森安雄、服部・島田バレエ団入団
1947.10.30	石井漠「舞踊ざんまい」右文社
1947.12.30	江口隆哉「学校に於ける舞踊」明星社
1947.--.--	石井漠「子供の舞踊第2集」玉川学園出版部
1948年(昭和23年)	
1948.01.09-15	東京バレエ団関西公演(大阪朝日会館)「コッペリア」
1948.01.--	松山バレエ団結成

1948.02.05-30	小牧バレエ団公演（帝国劇場）「プリンス・イゴール」振付＝小牧正英 藤原歌劇団の「セヴィラの理髪師」とのミックスプロ
1948.02.11	津田信敏近代舞踊派公演（小田原、御幸座）津田信敏 津田郁子 渥見利奈 等
1948.02.21	加藤耀子第1回新作発表会（山口県伊佐町旭館）「星の争い」他
1948.05.11	日本芸術舞踊家協会発足 会長：伊藤道郎 相談役：石井漠 河上鈴子 高田せい子 小森敏 理事：石井みどり 江口隆哉 平岡斗南夫 橘秋子 檜健次 武内正夫 深沢秀喜 事業部主任：棚田次郎
1948.05.28-30	貝谷バレエ団創立10周年記念公演（帝国劇場）「サロメ」他 振付＝貝谷八百子 作曲＝伊福部昭 出演＝貝谷八百子 島田廣 等
1948.05.29	日本芸術舞踊家協会結成記念公演（共立講堂）橘秋子、服部智恵子、小牧正英、ナデジダ・バヴロバ等が参加
1948.06.06	大原永子、橘バレエ研究所入所
1948.06.19	津田郁子第1回近代舞踊公演（共立講堂）「異教徒」「自我」他 出演＝津田郁子 高木陽子 渥見利奈 等
1948.10.31	石井みどり舞踊団公演（朝日新聞社講堂）「ワルツ」他 出演＝折田克子 磯野あや子 等
1948.11.02-15	益田隆舞踊公演（日本劇場）演出・振付＝益田隆 衣裳＝真木小太郎 出演＝牧由紀 益田隆 等
1948.11.05-15	東京バレエ団第4回公演（有楽座）「白鳥の湖」貝谷八百子／島田廣、谷桃子／関直人のダブル・キャスト 等
1948.11.10	東京新聞社主催合同舞踊公演 日本芸術舞踊家協会秋期合同大公演（共立講堂）出演＝安藤三子（安藤哲子） 大芝信 青山圭男 三輝容子 益田隆 等
1948.11.22-23	牧阿佐美、福田阿佐美の本名でデビュー公演（有楽座）「白鳥の夢」他 振付＝橘秋子
1948.11.30-12.12	益田隆舞踊公演（日本劇場）「スペインショー」「ハイ・アライ」振付＝青山圭男 益田隆 出演＝益田隆 真田千鶴子 等
1948.11.--	奥田敏子舞踊公演（名古屋、名宝文化劇場）「影」「新しき光」他 演奏＝名古屋オーケストラ 出演＝奥田敏子 等
1948.12.07	第1回彭城秀子舞踊公演（毎日ホール）
1948.12.24-28	東京バレエ団大阪公演（朝日会館）「白鳥の湖」
1948.12.--	奥田敏子舞踊公演（名古屋、御園座）「七夕」5景他 台本＝水森幹夫 出演＝奥田敏子 等
1948.--.--	横井茂、小牧バレエ団入団
1948.--.--	小林恭、石井漠に師事
1948.04.10	檜健次「舞踊論ノート」叢生社
1948.07.05	小寺融吉「舞踊の美学的研究」大河内書房
1948.08.20	邦正美「舞踊概説」河北印刷出版
1949年（昭和24年）	
1949.01.02-12	東京バレエ団第5回公演（帝国劇場）「白鳥の湖」「薔薇の精」演出＝小牧正英 装置＝三林亮太郎

1949.02.04-10	服部・島田バレエ団公演（新橋演舞場）「華麗なる大円舞曲」「七色の蝶」他
1949.04.03	江口乙矢・須美子舞踊団公演（大阪、毎日会館）「私は踊る」「遙かなる河」他
1949.04.09-24	東京バレエ団第6回公演（帝国劇場）「レ・シルフィード」（日本初演）振付＝マリイ・ジェニス、「サロメ」振付＝貝谷八百子、「シェヘラザード」振付＝小牧正英 出演＝松尾明美 大滝愛子 貝谷八百子 青山圭男 等
1949.04.11	津田信敏近代舞踊公演（日比谷公会堂）出演＝津田信敏 津田郁子 渥見利奈 等
1949.04.17	東京新聞社主催第6回全国舞踊コンクール（共立講堂）
1949.05.22	渡辺孝舞踊公演（読売ホール）「小牧神」「舞踊詩ローライ」振付＝渡辺孝 出演＝村田温等
1949.06.--	大野一雄・安藤三子舞踊公演（共立講堂）「街に寄せるアンニユイ」「クツ」「ハット」「親切な神様」出演＝大野一雄 安藤三子（安藤哲子）等
1949.06.13	江口隆哉・宮操子名作舞踏舞踊公演（帝国劇場）「手術室」「習作No.1」「スカラ座のまり使い」他
1949.06.22	小牧バレエ団、後楽園野外ページェント「剣舞」他
1949.06.--	越智実、中京バレエ研究会設立
1949.07.21	札幌市民文化祭洋舞の夕べ合同公演（札幌中央公民館）演出＝篠原邦幸 出演＝沙原聖子 千田モト 小澤久子 工藤倉子 等
1949.08.04	沙原聖子舞踊団公演（松竹座）「ミネトンカの湖畔」「蝶と花の精」他 出演＝沙原聖子 牧野京子 佐藤俊子 等
1949.08.28-29	江口隆哉・宮操子と舞踏団 帝劇納涼公演（帝国劇場）「イコザイダー」「山のあなた」「なにやとやら」他
1949.09.21	小森敏舞踊研究所発表会（読売ホール）「ダンスセレモニー」「ガボット」他 出演＝小森敏 藤井公 等
1949.09.26	江口乙矢・須美子舞踊団公演（読売ホール）「二重人格」「静寂」他
1949.10.25-26	橘バレエ団公演（帝国劇場）「アルルの女」他 振付＝橘秋子
1949.10.28	高田・山田舞踊団公演（帝国劇場）「落葉」「希望のかどで」振付＝高田せい子 山田五郎 演奏＝宅孝二 衣裳＝伊藤寿一 出演＝高田せい子 山田五郎 三輝容子 山田奈々子 安藤三子（安藤哲子） 等
1949.10.30	石井みどり創作舞踊公演（帝国劇場）「オリンピックを目指して」「渦」他 出演＝石井みどり 寒水多久茂 等
1949.11.15	伊藤道郎舞踊研究所公演（読売ホール）「音の流れ」振付＝伊藤道郎 出演＝真木竜子 等
1949.11.19	東京新聞社主催舞踊祭（共立講堂）出演＝石井漠 貝谷八百子 橘秋子 服部智恵子 島田廣 檜健次 等
1949.11.23	江口乙矢・須美子舞踊団公演（大阪、毎日会館）「若いこだま10景」他
1949.11.27	大野一雄現代舞踊第1回公演（共立講堂）「花と椅子」「七つの雷電の歌より」「エルンスト家の塑像」他 出演＝大野一雄 小林信次 等
1949.12.02-04	小牧バレエ団公演（日比谷公会堂）「受難」（チャイコフスキーの悲愴による）振付＝小牧正英

1949.12.11	安藤三子舞踊団公演（読売ホール）「トロイカ」他
1949.12.16-23	東京新聞社主催芸術舞踊合同公演（丸の内ピカデリー劇場）出演＝武内正夫舞踊団 和井内弘史・和井内恭子舞踊団 前沢五郎舞踊団 大野一雄舞踊団 安藤三子（安藤哲子）舞踊団等
1949.12.19	法村・友井バレエ団東京初公演（日比谷公会堂）「舞姫タイス」他
1949.12.20-24	貝谷バレエ団公演（帝国劇場）「バスカーナ」振付＝貝谷八百子 作曲＝伊福部昭
1949.---	谷桃子バレエ団結成
1949.---	小川亜矢子、小牧バレエ団入団
1949.---	松本道子、貝谷八百子に師事
1949.---	小牧正英、毎日演劇賞 「白鳥の湖」の演出に対して
1949.---	小牧正英、芸術祭文部大臣賞受賞 「受難」の演出・振付に対して
1949.06.30	大田黒元雄「バレエ大観」苦楽社
1949.10.15	邦正美「創作舞踊」鹿鳴出版
1950年（昭和25年）	
1950.01.04-07	小牧バレエ団公演（日比谷公会堂）「白鳥の湖」「受難」演出・振付＝小牧正英 美術＝三林亮太郎 照明＝橋本義雄 出演＝小牧正英 大滝愛子 関直人 等
1950.02.01-14	東京バレエ団第7回公演（有楽座）「白鳥の湖」出演＝谷桃子 広瀬佐紀子 等 「コッペリア」スワニルダ＝谷桃子／大滝愛子／広瀬佐紀子 フランツ＝島田廣／関直人 コッペリウス＝小牧正英 等 東京バレエ団としての最終公演となる
1950.02.11-12	東西合同舞踊祭（京都朝日会館・大阪朝日会館）「華麗なるワルツ」石井はるみ 江崎司、「失意」石井漠、「二重人格」江口乙矢 江口須美子
1950.03.03-04	服部・島田バレエ団公演（共立講堂）「恋は魔術師」（日本初演）「レ・シルフィード」
1950.03.17-19	小牧バレエ団公演（朝日会館）「新世界」「ラブソフィー・イン・ブルー」振付＝小牧正英
1950.04.01	河上鈴子戦後第1回舞踊発表会（読売ホール）
1950.04.08-09	東京新聞社主催第7回舞踊コンクール（共立講堂）
1950.04.28	石井漠舞踊団公演（共立講堂）「胡桃割人形 全曲」他 振付＝石井漠 出演＝石井漠 石井はるみ 江崎司 等
1950.06.10	石井はるみ第1回舞踊公演（日比谷公会堂）「スフィンクスの謎」「華麗なるワルツ」他 出演＝石井はるみ 江崎司 等
1950.06.11	平岡斗南夫戦後第1回舞踊発表会（読売ホール）
1950.07.03	伊藤道郎舞踊公演（草月会館ホール）「小さな羊飼」他 振付＝伊藤道郎 出演＝真木竜子 等
1950.07.11	橘バレエ団公演（日比谷公会堂）「未完成交響曲」他 振付＝橘秋子
1950.08.25-31	小牧バレエ団公演（有楽座）「白鳥の湖」
1950.09.01-09	服部・島田バレエ団公演（国際劇場）「森の妖精」振付＝島田廣
1950.09.10-11	貝谷バレエ団、貝谷八百子舞踊生活20周年記念公演（日比谷公会堂）「スペイン奇想曲」他 振付＝貝谷八百子 等

1950.09.23	石井漠舞踊団公演（読売ホール）「タンゴ」「弓の踊」「スフィンクスの謎」他 出演＝石井晶子 江崎司 石井はるみ 柴谷君江 等
1950.09.29	横山はるひバレエ・アート・スクール公演（日比谷公会堂）「失楽園」演出・振付＝横山はるひ 作曲＝芥川也寸志 装置・衣装＝北代省三
1950.09.30	渥見利奈近代舞踊公演（小田原城内小学校）「冬の挽歌」「おどけた卵」他 出演＝渥見利奈 日比野雅江 和田寿子 等
1950.10.12	伊藤道郎舞踊研究所公演（大阪府立文化会館）「祈り」「音の流れ」振付＝伊藤道郎 装置＝伊藤熹朔 照明＝穴沢喜美男 出演＝真木竜子 古荘妙子 巻田貞之助 等
1950.10.22	大野一雄現代舞踊第2回公演（共立講堂）「回帰線」他 出演＝大野一雄 小林信次 藤井邦彦 島津栄子 等
1950.10.28	永江巖、小牧バレエ団入団
1950.10.--	谷桃子、小牧バレエ団を退団し東京バレエ研究会設立（代表＝田中好道）有馬五郎 内田道生 長谷川訓子等が参加
1950.10.--	越智バレエ・アカデミー第1回公演（名古屋公会堂）
1950.11.06-09	東京新聞社・都民劇場主催 文部省芸術祭創作バレエ合同公演（日比谷公会堂）「湖底の夢」2幕4場 台本＝富井照三 作曲＝芥川也寸志 演出・振付＝高田せい子 美術＝河野鷹思 演出補＝山田五郎 出演＝三輝容子 彭城秀子 山田奈々子 石井漠 小森敏 平岡斗南夫 藤井公 山田五郎 高田せい子 等、「神とバヤードレ」原作＝ゲーテ 作曲＝石井欽 演出・振付＝石井漠 演出補＝小森敏 総指揮＝檜健次 出演＝石井カンナ 石井はるみ 和井内恭子 石井晶子 大野弘史 江崎司 石井漠 山田五郎 小森敏 等
1950.11.11	大阪府芸術祭主催合同公演（大阪、大手前会館）出演＝江口乙矢・須美子舞踊団 法村・友井舞踊団 等
1950.11.17-27	小牧バレエ団公演（有楽座）「ベトルーシュカ」（日本初演）振付＝小牧正英 ベトルーシュカ＝小牧正英 バレリーナ＝広瀬佐紀子／笹本公江 ムーア人＝関直人 等、他に「牧神の午後」「バラの精」
1950.11.25	楽聖生誕100年祭・チャイコフスキーの夕べ（日比谷公会堂）「胡桃割人形」（全8景）振付＝石井漠 出演＝石井漠舞踊団
1950.12.11-12	江口隆哉・宮操子舞踊団公演（帝国劇場）「プロメテの火」台本＝菊岡久利 作曲＝伊福部昭 演出・振付＝江口隆哉 宮操子 出演＝江口隆哉 宮操子 等 他に「イコザイダー」
1950.12.04	ジェーン・バロウ公演（帝国劇場）「カクテル・パーティー」他
1950.12.23-26	貝谷バレエ団公演（帝国劇場）「ブルー・ダニエーブ」他 振付＝貝谷八百子
1950.---	バレエ映画「赤い靴」封切
1950.---	慶応義塾バレエ研究会設立 会長＝蘆原英了 実技講師＝松尾明美
1950.---	堀内完、貝谷バレエ団入団
1950.---	小林恭、小牧バレエ団入団
1950.---	岡本佳津子、橘バレエ学園入学
1950.10.01	オリガ・サファイア「バレエ入門」山上書房
1950.11.01	オリガ・サファイア「バレエ読本」山上書房

1950
~
1951

1950.12.25	蘆原英了「バレエの基礎知識」創元社
1950.---	石井漢「舞踊表現と基本指導」啓文館
1951年（昭和26年）	
1951.03.04	石井みどり舞踊研究所東京大公演（日比谷公会堂）「ひめゆりの塔」他 構成=石井みどり 演奏=東京フィルハーモニー管弦楽団
1951.03.07	藤蔭静枝舞踊生活60周年を讃える合同舞踊公演（日比谷公会堂）出演=小森敏舞踊研究所 平岡斗南夫舞踊団 服部・島田バレエ団 青山圭男 石井漢舞踊研究所 益田隆 河上鈴子 檜健次 石井みどり舞踊団 高田・山田舞踊団 藤蔭会
1951.04.14-15	東京新聞社主催第8回全国舞踊コンクール（日比谷公会堂）
1951.05.06	石井漢舞踊研究所公演（日比谷公会堂）「神とバヤデーレ」演出=石井漢 出演=石井漢 高 田せい子 等
1951.05.10-23	小牧バレエ団公演（新橋演舞場）「コッペリア」「白鳥の湖」
1951.06.10-12	谷桃子バレエ団公演（日比谷公会堂）「トゥオネラの白鳥」振付=谷桃子、「火の鳥」「レ・シ ルフィード」出演=谷桃子 内田道生 小林恭 等
1951.07-08	大阪合同舞踊公演（大阪朝日会館）「湖底の夢」作曲=芥川也寸志 振付=高田せい子、他に、 山田五郎 小森敏 三輝容子 法村・友井バレエ団 等出品
1951.07.24	横山はるひバレエ・グループ公演（日比谷公会堂）「K A P P A」振付=横山はるひ 台本・ 演出=川路明
1951.08.28-30	小牧バレエ団公演（日比谷公会堂）「ペトルッシュカ」「プリンス・イゴール」出演=小牧正 英 広瀬佐紀子 笹本公江 関直人 等
1951.09.01-07	橘バレエ団公演（新橋演舞場）「運命」作曲=ベートーベン 振付=橘秋子 出演=牧阿佐美 橘秋子 等
1951.09.29	邦千谷デビュー舞踊公演（読売ホール）
1951.10.12-13	大滝愛子バレエ団公演（日比谷公会堂）「カルメン」振付=大滝愛子 出演=大滝愛子 益田 隆 等
1951.10.14	河上鈴子舞踊団公演（帝国劇場）「森」「アルバム」「ジプシー」他
1951.10.19	国民歌劇協会第18回公演（共立講堂）「鷹の井戸」「舞踊への勧誘」振付=小森敏 出演= 木村利子（藤井利子） 等
1951.11.10	創作舞踊合同公演（日比谷公会堂）出演=石井漢 執行正俊 津田信敏近代舞踊派 三橋連 子舞踊団 安藤三子（安藤哲子） 大野一雄 檜健次 等
1951.11.23	法村・友井バレエ団公演（日比谷公会堂）「サロメ」「血液の循環」振付=法村康之・友井唯 起子
1951.11.23	大野一雄現代舞踊第3回公演（共立講堂）「海」「巷に雨の」他 出演=大野一雄 梶ヶ谷道 江 等
1951.11--	ピカソ祭「生きる喜び」（日比谷公会堂）実験工房 第一回発表会
1951.12.01-05	貝谷バレエ団公演（日比谷公会堂）「シンデレラ」（全幕日本初演）シンデレラ=貝谷八百子 王子=有馬五郎 等
1951.12.16	橘バレエ団バレエ学校新校舎落成記念公演（日比谷公会堂）「カルパチアの春」「白鳥の夢」他

1951
~
1952

1951.---	アベ・チエ、フランスに渡りパリ音楽院バレエ科に入学
1951.---	芸術選奨文部大臣賞 江口隆哉・宮操子 舞踊界への功績により
1951.02.20	石井漢「私の舞踊生活」（講談社）
1951.09.30	梅村レイ子訳「ワグナーワ・バレエ教則本」（芸術社）
1952年（昭和27年）	
1952.01.13-15	服部・島田バレエ団公演（日比谷公会堂）「さまよえる肖像」「セレナーデ」「恋は魔術師」 出演=島田廣 笹田繁子 古藤かほる 松岡みどり 等
1952.01.27	福田一平創作舞踊公演（日比谷公会堂）「白い斜面」他 作曲=宇野誠一郎 照明=大庭三郎 出演=福田一平 高橋幸子 等
1952.02.17	合同舞踊公演 小森敏を偲びて
1952.04.12-13	東京新聞社主催第9回全国舞踊コンクール（日比谷公会堂）
1952.04.19-27	小牧バレエ団公演（日比谷公会堂）「受難」「レ・シルフィード」
1952.04.--	法村康之、友井唯起子夫妻、パリに渡りバレエをマダム・ステラに、スペイン舞踊をテレジー ナに学ぶ
1952.05.05-06	富田澄子バレエ団第1回公演（日比谷公会堂）「セビリアの祭」他 出演=富田澄子 等
1952.05.31-06.04	スペインからエスパニタ・コルテス来日公演（帝国劇場）
1952.06.18	第1回三輝容子舞踊団公演（日比谷公会堂）「ジプシー」「胎動」他 作曲=呉泰次郎 美術 =伊藤寿一 照明=松崎国雄
1952.07.16	松尾バレエ団公演（日比谷公会堂）「ジゼル」（ボームの著作「Ballet calld Gisselle」をも とに再現し日本初演）ジゼル=松尾明美 アルプレヒト=黒田登 ミルタ=松山樹子
1952.09.05	近藤玲子バレエ団公演（日比谷公会堂）「牡丹燈記」他
1952.09.24	橘秋子バレエ学校、学校法人となる（日本初）
1952.10.01-18	セルジュ・リファール・バレエ団公演（日比谷公会堂）「白の組曲」「牧神の午後」「シルビア」 他 出演=リファール ダルソソバル ダイデ カリウジニー 他に日本から松尾明美 谷 桃子 松山樹子 等が応援出演
1952.11.06-11	小牧バレエ団公演（日劇）「眠れる森の美女」（全幕日本初演）出演=ソニア・アロワ 小牧 正英 関直人 等
1952.11.20	高田・山田創作バレエ団公演（日比谷公会堂）「湖底の夢」「石像と花と女」作曲=芥川也寸 志 照明=穴沢喜美男 出演=高田せい子 山田五郎 平岡斗南夫 山田奈々子 等
1952.12.01-03	小牧バレエ団公演（日比谷公会堂）「ドン・キホーテ」よりパ・ド・ドゥ（日本初演）他 ソ ニア・アロワが小牧正英を相手に踊る
1952.12.07	島田正男（平多正於）舞踊公演（共立講堂）「天狗峠」台本=庄野正典 作曲=平岡照章 照 明=遠山静雄
1952.12.08	法村康之、友井唯起子夫妻、パリのコメディ・シャンゼリゼでリサイタル、「白拍子」「夢殿 の観音」等を上演
1952.---	ブリヤ・ゴパール、ラクシュマン・シン公演
1952.---	芸術祭奨励賞 江口隆哉・宮操子 「プロメテの火」（1951年に上演）により

1952.01.10	貝谷八百子「バレエ教本」(ハンドブック社)
1953年(昭和28年)	
1953.01.17	古月舞踊団東京公演(日比谷公会堂)「ノー・モア・ヒロシマズ」構成・演出・振付=古月澄子 古月峰子
1953.01.17-19	横山はるひ・大滝愛子大阪公演(大阪産経会館)「新世界交響曲」振付=大滝愛子 「ライラック・ガーデン」振付=横山はるひ
1953.01.24-26	貝谷バレエ団公演(日比谷公会堂)「シンデレラ」
1953.01.27	横山はるひ帰朝公演(日比谷公会堂)「ライラック・ガーデン」「ティル・オイレンシュペーゲル」他
1953.02.21	第1回創作舞踊集団公演(日比谷公会堂)振付=福田一平 関矢幸雄 黒岩延浩 石川須姝子 等
1953.02.23	小牧バレエ団公演(日比谷公会堂)「白鳥の湖」
1953.02.27-03.03	貝谷バレエ団公演(新橋演舞場)「シンデレラ」
1953.03.04-08	小牧バレエ団公演(新宿劇場)「白鳥の湖」
1953.03.27	近藤玲子舞踊団公演(第一生命ホール)「牡丹燈記」「霸王別姫」他 振付=近藤玲子 出演=近藤玲子 藤田繁 等
1953.04.05	オリガ・サファイア引退記念公演(帝国劇場)「旋律」振付・主演=松尾明美, 「白狐の湯」振付・主演=松山樹子 他
1953.04.09	橘バレエ団公演(日比谷公会堂)「カルパチアの春」, 「銀河鉄道の旅」作曲=武満徹
1953.04.11-12	東京新聞社主催第10回全国舞踊コンクール(日比谷公会堂)
1953.04.26	春の舞踊祭(日比谷公会堂)
1953.05.08	伊藤道郎舞踊団公演(日比谷公会堂)「悲愴—恩師ジャック・ダルクローズ先生に贈る—」作曲=ベートーベン, 「マンハッタン・セレナーデ」他 出演=真木竜子 峯桐子 古荘妙子 等
1953.05.11	安藤三子舞踊公演(第一生命ホール)「街に寄せる倦怠」他 装置=東郷青児 照明=穴沢喜美男 出演=安藤三子 冨師明子 等
1953.05.16-21	スラヴェンスカ・フランクリン・バレエ団公演(帝国劇場)「欲望という名の電車」「バレリーナの肖像」「美しきダニユープ」他 出演=アレキサンドラ・ダニロワ ミア・スラヴェンスカ フレデリック・フランクリン 等
1953.05.28-06.02	小牧バレエ団公演(新宿劇場)「眠れる森の美女」出演=小牧正英 太刀川瑠璃子 広瀬佐紀子 笹本公江 等
1953.06.14	松山バレエ団公演(第一生命ホール)「白狐の湯」他 出演=松山樹子 内田道生 等
1953.07.05	東京新聞社主催芸術舞踊合同公演(日比谷公会堂)出演=河上鈴子スペイン舞踊団 石井漠舞踊団 服部・島田バレエ団 等
1953.07.25-08.02	貝谷バレエ団15周年記念公演(帝国劇場)「くるみ割り人形」(全幕日本初演)出演=貝谷八百子 春原永人 青山圭男 堀内完 等
1953.09.01-05	小牧バレエ団公演(日比谷公会堂)「白鳥の湖」出演=太田招子 笹本公江 関直人 等

1953.08.09	近藤玲子バレエ団公演(帝国劇場)「思い出を売る男」戯曲=加藤道夫 作曲=黛敏郎 出演=近藤玲子 等 特別出演=高英男
1953.09.13	服部・島田バレエ団公演「ショパンによるバレエの夕べ」(日比谷公会堂)「コンスタンチア」他 出演=笹田繁子 島田廣 等
1953.09.20	加藤燿子舞踊発表会(萩市公民館)「波のしらべ」「ペルシャの市場」他
1953.09.21	益田隆舞踊団関西公演(宝塚劇場)「槍の踊」他
1953.09.26	津田信敏近代舞踊派公演(日本青年館)「女の死んだ時間」他 出演=津田信敏 津田郁子 渥見利奈 等
1953.09.26-27	橘バレエ団「牧阿佐美渡米送別公演」(帝国劇場)「アルルの女」他
1953.10.03	大滝愛子渡米送別公演(日本青年館)「カルメン」他
1953.11.04	高田・山田創作バレエ団公演(日比谷公会堂)「石像と花と女」作曲=陶野重雄, 「炎も星も」作曲=芥川也寸志, 構成=高田せい子 山田五郎 装置=伊藤寿一 照明=穴沢喜美男 出演=平岡斗南夫 山田奈々子 志賀美也子 等
1953.11.04-25	小牧バレエ団公演(日本劇場)「ジゼル」「白鳥の湖」他 出演=ノラ・ケイ ポール・シラード 小牧バレエ団
1953.11.05	芸術祭主催江口舞踊団公演(日比谷公会堂)「プロメテの火」作曲=伊福部昭, 「作品七番」作曲=池野成, 出演=江口隆哉 宮操子 西田堯 大谷旦 等
1953.11.06.14.15	石井漠舞踊研究所公演(日比谷公会堂)「人間釈迦」構成・演出=石井漠 美術=三林亮太郎 照明=松崎国雄 作曲=伊福部昭 演奏=東京交響楽団 出演=石井漠 石井みどり 石井不二香 等
1953.11.21	大野一雄舞踊公演(第一生命ホール)「狐と石像」「天の果实」他 出演=大野一雄 梶ヶ谷道江 等
1953.11.22	エリアナ・パヴロバ十三回忌追悼公演(日比谷公会堂)
1953.11.27	小森安雄、河内昭和、松岡みどり、石田種生、粕谷辰雄等が、服部・島田バレエ団を脱退し青年バレエ・グループを結成。のちに佐多達枝も参加
1953.12.06	法村・友井近代バレエ団公演(日比谷公会堂)「赤い天幕」他 出演=友井唯起子 江崎司 等
1953.--.--	小川亜矢子、渡英し2年間サドラーズ・ウエルズ・バレエ・スクールで学ぶ
1953.--.--	米山九日生(土方巽)、安藤三子舞踊研究所に入門
1953.--.--	東京新聞社制定第1回舞踊芸術賞 初世藤蔭静枝
1953.--.--	大阪市文化祭奨励賞 法村・友井バレエ団
1953.06.25	A. アルサーニエワ著 梅村レイ子訳「フォークダンス(民俗舞踊)の基礎と踊り方」(実業之日本社)
1953.09.20	松山樹子 岩田みさご共訳「ソヴェトの舞踊」
1953.11.05	江口隆哉「月刊 現代舞踊」11月号創刊~1972年7月1日3月号(196号)まで
1954年(昭和29年)	
1954.01.06-16	貝谷バレエ団公演(日比谷公会堂)「くるみ割り人形」

1954.01.23	石井不二香・寒水多久茂舞踊団公演（共立講堂）「羅生門」「タンゴ」他 出演＝石井不二香 寒水多久茂 平岡斗南夫 江崎司 等
1954.01.26	松山バレエ団公演（日比谷公会堂）「夢殿」他 振付＝松山樹子、「グランド・ポロネーズ」振付＝小森安雄 特別出演＝青年バレエ・グループ
1954.02.01-07	オール・スター・バレエ公演（新宿劇場）出演＝青年バレエ・グループ 松尾明美 瀬良文子 等
1954.03.08	牧阿佐美、渡米シアレクサンドラ・ダニロワに師事
1954.03.09	小牧バレエ団公演（日比谷公会堂）「白鳥の湖」
1954.03.20	二瓶博子第1回創作舞踊公演（日本青年館）「踊る阿呆」他 出演＝二瓶博子 池田瑞臣 米山ママ子 等
1954.04.07	谷桃子、パリへ留学
1954.04.17-18	東京新聞社主催第11回全国舞踊コンクール（日比谷公会堂）
1954.04.29	服部・島田バレエ団公演（日比谷公会堂）新解釈による「白鳥の湖」、「美しきダニューブ」「牧神の午後」他 出演＝笹田繁子 小倉礼子 島田廣 等
1954.04.--	広瀬佐紀子、笹本公江、横井茂ら11名、小牧バレエ団を脱退し、東京バレエ協会を結成
1954.05.01	近藤玲子バレエ団公演（帝国劇場）「思い出を売る男」「ボロと宝石」他 振付＝近藤玲子
1954.05.01-09	小牧バレエ団公演（日比谷公会堂）「ドン・キホーテ」「ペトルーシュカ」他
1954.05.02	東バレエ団創立20周年記念公演（帝国劇場）「桜咲く国」「今宵ヨハン・シュトラウスを」「はなかげ」他 出演＝東勇作 藤間節子（黛節子） 薄井憲二 等
1954.05.05	笹本公江と永江巖が笹本公江バレエ団を結成
1954.06.05	松山樹子バレエ団公演（日本青年館）「ファウスト」振付＝松山樹子、「ピーターと狼」振付＝中村友武、「水の反映」振付＝佐多達枝、出演＝松山樹子 石田種生 中村友武 柿沼田鶴子 等
1954.06.10	三輝容子舞踊団公演（日本青年館）「ダンスタイム」「菩提樹」他
1954.06.21	北井一郎舞踊公演（第一生命ホール）「時のアラベスク」振付＝北井一郎 出演＝北井一郎 甲斐ひかり 等
1954.06.22	小牧バレエ団、日劇ダンシング・チーム合同公演（日劇）特別出演＝越路吹雪
1954.06.26	江崎司舞踊公演（日比谷公会堂）「青春 四幕」他 出演＝江崎司 三条万里子 等
1954.06.28	横山バレエ団公演（日比谷公会堂）「ピノキオ」台本＝前田武彦 振付＝横山はるひ 作曲＝今井重幸
1954.07.10	石井みどり舞踊公演（日比谷公会堂）「南風の吹く所」「越天楽より」他 出演＝石井みどり 折田克子 等
1954.07.29-31	小牧バレエ団公演（日比谷公会堂）「白鳥の湖」客演＝ノラ・ケイ
1954.08.25-09.17	小牧バレエ団公演（日劇、大阪北野劇場）「ライラック・ガーデン」「カフェ・バー・カンカン」「火の鳥」「ドン・キホーテ」客演＝ノラ・ケイ アントニー・チューダーを招聘し上演
1954.09.03-12	貝谷バレエ団公演（帝国劇場）スタニスラフスキー＝ダンチェンコ版による「白鳥の湖」出演＝貝谷八百子 町田洵子 加美早苗 石垣和代 大島妃紗子 春原永人 堀内完 等

1954.09.13	安藤三子ダンシングヒールズ舞踊公演（日比谷公会堂）「鳥」「スリル・ジャンクション」他 出演＝安藤三子（安藤哲子） 堤世王巳 大野一雄 土方九日生（土方巽） 等
1954.09.19-21	東京バレエ協会結成記念公演（帝国劇場）「ジゼル」、 「愛情の場」振付＝矢田茂 他 出演＝広瀬佐紀子 笹本公江 等
1954.09.30-10.04	小牧バレエ団公演（日本劇場）「白鳥の湖」「ドン・キホーテ」他 出演＝ノラ・ケイ 小牧バレエ団 指導＝アントニー・チューダー
1954.10.02	津田信敏近代舞踊派公演（日本青年館）「遺書」「女の死んだ時間」「最後の晩餐」他 出演＝津田信敏 等
1954.10.08	大滝愛子、アメリカより帰国
1954.10.30	牧由紀舞踊公演（帝国劇場）「炎鐘の賦」作曲＝古田徳郎、「夕顔源氏」作曲＝萩原利次、出演＝牧由紀 等
1954.10.--	法村・友井バレエ団 法村康之、友井唯起子夫妻帰国記念公演（日比谷公会堂）「赤い天幕」「薔薇の手紙」他 出演＝法村康之 友井唯起子 友井桜子 永江巖 等
1954.11.01-07	マーサ・グラーム舞踊団公演（東京産経会館・東京宝塚劇場）「心の洞穴」「夜の旅」「エンゼルの遊戯」他 振付＝マーサ・グラーム 出演＝マーサ・グラーム エセル・ウィンター パートラム・ロス リンダ・ホード 等
1954.11.27-12.12	マルシャン＝ミスコビッチ・バレエ団公演（帝国劇場、新橋演舞場）「ル・コンパ」（日本初演）「サロメ」他 出演＝コレット・マルシャン ミロラード・ミスコヴィッチ マイケル・ランド 等
1954.12.01	近藤バレエ団公演（東横ホール）「マダムは夢で恋をする」他 振付＝近藤玲子
1954.12.03	アベ・チエ・バレエ・リサイタル（日比谷公会堂）「黒鳥」他 賛助出演＝谷桃子バレエ団
1954.12.17	現代派舞踊作品発表会（日本青年館）出演＝和爾久仁子舞踊研究所 金光舞踊研究所 小森舞踊研究所 安藤三子（安藤哲子）舞踊団 等
1954.--.--	石田種生、松山バレエ団に移籍
1954.--.--	東京新聞社制定第2回舞踊芸術賞 「人間釈迦」他により石井漠
1954.--.--	芸術選奨文部大臣賞 「人間釈迦」他により石井漠
1954.--.--	大阪府民芸術賞 法村・友井近代バレエ団
1954.09.15	邦正美「舞踊」体育の科学社
1955年（昭和30年）	
1955.01.05	貝谷バレエ団公演（日比谷公会堂）「白鳥の湖」出演＝貝谷八百子 加美早苗 石垣和代 春原永人 等
1955.01.07	谷桃子バレエ団公演（日比谷公会堂）
1955.01.10	東京バレエ協会公演（日比谷公会堂）「ジゼル」出演＝広瀬佐紀子 横井茂 日高惇 等
1955.01.21-27	小牧バレエ団公演（日劇）「白鳥の湖」宝塚歌劇のダンサーが特別出演
1955.02.05	芸術舞踊合同公演「高田雅夫を偲ぶ」（日比谷公会堂）出演＝平岡・志賀舞踊団 安藤三子舞踊研究所 等

1955.02.12,18	松山樹子バレエ団公演(日比谷公会堂)「白毛女」振付=松山樹子 作曲=林光 演奏=ラモー室内楽団 出演=松山樹子 石田種生 中村友武 佐多達枝 小平艶子 等
1955.02.22	谷桃子、パリより帰国
1955.02.23	手塚邦子バレエ・リサイタル(白木劇場)「オセロ」他
1955.03.05	邦正美舞踊公演(日本青年館)「神の休日」
1955.03.08	牧阿佐美、アメリカから帰国
1955.03.13-04.04	小牧バレエ団公演(日比谷公会堂)「眠れる森の美女」出演=太刀川瑠璃子 小牧正英 尺田知路 須永晶子 等
1955.03.16-21	貝谷バレエ団公演(東京産経会館)「シンデレラ」出演=貝谷八百子 春原永人 堀内完 桑原君隆 等
1955.03.19	三輝容子舞踊団公演(日経ホール)「白い手の貴婦人たち」「ダンスタイム」他
1955.03.29-31	バレエ実験劇場第1回公演(俳優座)「未来のイヴ」装置=北代省三 作曲=黛敏郎 武満徹 「イルミナシオン」芥川也寸志 振付=松尾明美 台本・演出=川路明 装置=山口勝弘 他に「乞食王子」作=川路明 装置=福島秀子 照明=今井直次
1955.04.08-09	石井漠「人間釈迦」紫綬褒章受章記念公演(日比谷公会堂)
1955.04.23-24	東京新聞社主催第12回全国舞踊コンクール(日比谷公会堂)
1955.05.14	榎本誠バレエ団結成記念公演(豊島公会堂)「奇妙な店」他
1955.05.24,29,06.05(3日間)	服部・島田バレエ団公演(日比谷公会堂)「令嬢ジュリー」振付=服部智恵子・島田廣 作曲=石井欽 出演=笹田繁子 古藤かほる 島田廣 小倉礼子 等 他に「美しきダニユープ」「くるみ割り人形」
1955.06.05-06	小牧バレエ団公演(日比谷公会堂)「白鳥の湖」
1955.06.12	松山樹子渡欧歓送バレエの夕べ(日本青年館)ヘルシンキ世界平和友好祭に参加
1955.06.12	第3回小森敏舞踊団(藤井公主宰)公演(日本青年館)「ノクチュルヌ」「どっこい」他 振付=藤井公 出演=藤井公 木村利子 等
1955.06.14-22	貝谷バレエ団公演(共立講堂)「白鳥の湖」
1955.06.19-20	江口・宮舞踊団大阪公演(大阪産経会館)「プロメテの火」「作品7番」
1955.06.25-27	貝谷バレエ団公演(日比谷公会堂)「ポーギーとベス」振付=貝谷八百子 出演=貝谷八百子 巳野部豊 桑原君隆 吉村辰彦 等
1955.07.01	服部・島田バレエ団公演(日本青年館)「パ・ド・カトル」出演=古藤かほる 笹田繁子 小倉礼子、白畑ユリ、他
1955.07.03	小牧バレエ団公演(日比谷公会堂)「白鳥の湖」
1955.07.17-18	大滝バレエ団公演(日比谷公会堂)「巴里のアメリカ人」他 振付=大滝愛子
1955.07.22	全国芸術舞踊サークル主催 全国舞踊芸術家合同東京公演(日比谷公会堂)
1955.07.24	渥見利奈近代舞踊公演(第一生命ホール)「冬の挽歌」他 照明=高橋秀宣
1955.08.24	近藤バレエ団公演(日比谷公会堂)「カルメン」振付=近藤玲子 出演=近藤玲子、益田隆、高英男 等

1955.08.25-09.02(4日間)	貝谷バレエ団公演(日比谷公会堂)「ポーギーとベス」
1955.09.04-11	小牧バレエ団公演(日比谷公会堂)「チャイコフスキー交響曲4番」「ペトルウシユカ」出演=小牧正英 太刀川瑠璃子 岩村信雄 等
1955.09.19-22	三大バレエ団合同公演(日比谷公会堂、東京産経会館)「恋は魔術師」服部・島田バレエ団、「コッペリア」横山はるひバレエ団、「今宵はヨハン・シュトラウスを」東バレエ団
1955.09.26	青年バレエ・グループ公演(日本青年館)「対流」振付=河内昭和、他
1955.10.21-11.04	アレキサンドラ・ダニロワ、牧阿佐美、橘バレエ団公演(大阪産経会館、東京産経会館、日比谷公会堂、他各地方で公演)「パ・ド・カトル」(日本初演)「ショピニアナ」「胡桃割り人形」「白鳥の湖」他
1955.10.--	法村・友井バレエ団公演(日比谷公会堂)「洞窟」振付=友井唯起子、他
1955.11.11	笹田繁子渡米記念公演(日比谷公会堂)「令嬢ジュリー」
1955.11.14	安藤三子舞踊公演(東京産経会館)「ガラスの街」他 出演=安藤三子(安藤哲子) 堀内完 土方九日生(土方巽) 等
1955.11.14-16	小牧バレエ団文部省委嘱公演(日比谷公会堂)「日輪」原作=横光利一 作曲=清水脩 振付=小牧正英 出演=太刀川瑠璃子 雑賀淑子 小牧正英 関直人 等
1955.11.20	東京新聞社主催芸術舞踊合同公演(日比谷公会堂)
1955.11.22-26	安藤三子・堀内完ユニークダンスグループ公演(ビデオホール)ミュージカル詩劇「奇妙な人形の恋物語」
1955.11.23	秋の現代派舞踊公演(藤井公主宰)(埼玉会館)「グランド・ヴァルス・プリヤント」「掲仰」振付=藤井公 出演=木村利子 等
1955.12.15	第1回芸文鑑賞会(東京産経会館)「プロメテの火」「日本の太鼓」演奏=東京交響楽団 指揮=上田仁 出演=江口・宮舞踊団
1955.12.17-27	マルセル・マルソー公演(東京産経会館 他)
1955.--.--	第1回紫綬褒章 石井漠
1955.--.--	芸術選奨 島田廣「令嬢ジュリー」により
1955.--.--	東京新聞社制定第3回舞踊芸術賞 花柳寿輔
1956年(昭和31年)	
1956.01.06-08	小牧バレエ団公演(日比谷公会堂)「白鳥の湖」
1956.01.07	バレエ東京公演(第一生命ホール)「森の歌」振付=及川広信、他
1956.01.27	青年バレエ・グループ公演(日本青年館)「異聞イソップ物語」振付=小森安雄、「ギフト・ラブソディ」振付=河内昭和、「未完の肖像」振付=粕谷辰雄
1956.01.28	石井晶子帰朝第1回舞踊公演(東京産経会館)「チェック・メイト」作曲=呉泰次郎
1956.01.31-02.05	貝谷バレエ団公演(大阪産経会館)「ロミオとジュリエット」(日本初演) ジュリエット=貝谷八百子 ロミオ=巳之部豊 等
1956.02.05	関口長世バレエ・リサイタル(丸の内ホール)

1956.02.07-09	三輝容子舞踊公演（産経会館国際ホール）円型舞台による新しい演出「詩をめぐるファンタジー」原作＝谷内六郎 振付＝三輝容子
1956.02.11	全日本芸術舞踊協会発足 会長：石井漠 副会長：高田せい子 理事長：江口隆哉 監事：河上鈴子 東勇作 常任理事：石井みどり 貝谷八百子 小牧正英 近藤玲子 執行正俊 鳥田廣 武内正夫 橘秋子 谷桃子 津田信敏 檜健次 平岡斗南夫 法村康之 山田五郎 相談役：伊藤道郎 事務局長：檜健次
1956.02.12	手塚邦子バレエ・リサイタル（白木劇場）「三人姉妹」
1956.02.13	谷桃子バレエ団公演（東京産経会館）「白鳥の湖」賛助出演＝石井小浪 河上鈴子
1956.02.25	三人の会舞踊公演（日本青年館）「窓は見ている」振付＝三輝容子 音楽＝武満徹 出演＝三輝容子 藤枝初実 美咲安里
1956.03.18-19	貝谷八百子バレエ団公演（東京産経会館）「ロミオとジュリエット」
1956.03.11,18	小牧バレエ団公演（日比谷公会堂）「眠れる森の美女」
1956.03.11	産経会館落成1周年記念公演“四つのチャイコフスキー”（東京産経会館）出演＝東バレエ団 大滝バレエ団 橘バレエ団 服部・鳥田バレエ団
1956.03.20	法村・友井バレエ団公演（東京産経会館）「赤き死の舞踏」他 振付＝友井唯起子
1956.04.06	橘バレエ団公演（日本青年館）「ル・ヴィリイ」他
1956.04.14-15	東京新聞社主催第13回全国舞踊コンクール（日比谷公会堂）
1956.04.19-22	伊藤道郎舞踊団公演 MASK PLAYERS Present for One Act Dance（俳優座劇場）「ワトウの絵画」「死の舞踏」「牧神の午後」「ピエロはなぜ悲しいか」他 出演＝真木竜子 峯桐子 古荘妙子 等
1956.05.06	松山バレエ団公演 松山樹子帰朝、バレエ団創立7周年記念公演（日本青年館）「浮布物語」「水蓮の踊」他
1956.05.30-06.20	中国訪日京劇代表団公演（歌舞伎座 他）梅蘭芳 等
1956.06.01	フォーク・ウェイ第1回公演（東横ホール）「水」振付＝由井カナコ、「オペレーション」振付＝江崎司 他
1956.06.08	安藤三子・堀内完ユニーク・ダンス・グループ公演（東京産経会館）「カルメン」「ガラスの街」「ジャズ組曲」他 作曲＝湯浅譲二 演奏＝原信夫とシャープス・アンド・フラッツ 美術＝橋本潔 照明＝今井直次 出演＝安藤三子（安藤哲子）堀内完ユニーク・ダンス・グループ
1956.06.18	黒沢輝夫・下田栄子第1回舞踊公演（神奈川県立音楽堂）「蛇性譜」
1956.06.23-24	江口乙矢・須美子舞踊公演（大阪産経会館）「オルフェウス」（四幕）他
1956.06.29	関口長世バレエ・リサイタル（東横ホール）「七夕記」他
1956.06.30	東勇作バレエ・ド・サムデイ（東宝演芸場）「指輪をはめた犬」振付＝薄井憲二 出演＝東勇作 松山樹子 広瀬佐紀子 薄井憲二 等
1956.07.06	法村・友井バレエ団公演（日本青年館）「オレンジの並木道」他
1956.07.07	石井不二香舞踊公演（東京産経会館）「鬼太鼓」「羅生門」他 作曲＝呉泰次郎 照明＝松崎国雄 美術＝河野鷹思 出演＝江崎司 寒水多久茂 吉村辰彦 等
1956.07.11	神田明子（アキコ・カンダ）第1回公演（第一生命ホール）「雨に濡れたバイブル」他

1956.07.15	小牧バレエ団新作公演（日比谷公会堂）「海底」振付＝関直人、「白い帽子」振付＝雑賀淑子 他
1956.07.21	松尾バレエ団公演（俳優座）「コッペリア」
1956.07.22	全日本芸術舞踊協会結成記念全国舞踊合同公演（日比谷公会堂）
1956.07.23	貝谷バレエ団公演（日比谷公会堂）ポリショイ劇場版「白鳥の湖」
1956.08.07	近藤バレエ団公演（東京宝塚劇場）「陽気な水兵」他 振付＝近藤玲子
1956.08.30	東、服部・鳥田、谷、関口、横山、東京バレエ協会の6団体の合同（東京シティ・バレエ団と臨時に称した）による公演（日比谷野外音楽堂）「セレナーデ」他
1956.09.05-14	小牧バレエ団公演（日本劇場）「眠れる森の美女」 オーロラ＝ソニア・アロワ 王子＝ジョフ・サンダース 等
1956.09.16	小牧バレエ団10周年記念公演（東京産経会館）「海底」振付＝関直人 他
1956.10.08	全日本芸術舞踊協会主催 第1回新人舞踊公演（第一生命ホール）
1956.11.06	森田真弘・益代モダンダンスリサイタル（大阪産経会館）「黒いMEMO」出演＝森田真弘 森田益代 等
1956.11.21,22,25	江口隆哉・宮操子舞踊団公演（東京産経会館）「プロメテの火」他
1956.11.23-12.04	服部・鳥田バレエ団公演（東京産経会館）「シルビア」（全幕日本初演）出演＝古藤かほる 小倉礼子 等
1956.11.--	牧阿佐美バレエ団結成
1956.12.07	小牧バレエ団公演（東京産経会館）「カフェ・バア・カンカン」「ジゼル」「ペトルウシュカ」出演＝田中福枝 佐々保樹 小川亜矢子 等
1956.12.07	津田信敏近代舞踊派公演（日本青年館）「神さまの七つの話」「女の家」他
1956.12.08-25 (6回公演)	貝谷バレエ団公演（日比谷公会堂、東京産経会館）「くるみ割り人形」
1956.12.12	高田せい子・山田五郎公演（東京産経会館）「湖底の夢」台本＝富井照三 作曲・指揮＝芥川也寸志、「海のバラード」台本＝杉賀代子 作曲＝外山雄三、構成・振付＝高田せい子・山田五郎 照明＝松崎国雄 演奏＝A B C交響楽団 美術＝橋本潔 出演＝高田せい子 山田真二 平岡斗南夫 山田奈々子 等
1956.--.--	国立劇場建設の内容が閣議で決定された後、敷地、舞台機構による上演内容の計画策変更、その後、三、四転し、結局、古典芸能保存普及目的とすることとなる。（起工式は1964年8月）
1956.--.--	東京新聞社制定第4回舞踊芸術賞 藤間藤子
1956.08.26	音楽新聞社「昭和の音楽・舞踊＝音楽新聞社創刊25周年記念特別号」
1956.11.01	伊藤道郎「美しくなる教室」宝文館
1957年（昭和32年）	
1957.01.03-29 (5回公演)	谷桃子バレエ団公演（東京産経会館、日比谷公会堂）「白鳥の湖」出演＝谷桃子 内田道生 等
1957.01.07-20 (3回公演)	小牧バレエ団公演（日比谷公会堂）「白鳥の湖」出演＝太刀川瑠璃子 小川亜矢子 関直人 鈴木武 等

1957.01.26-27	牧阿佐美バレエ団結成記念公演（東京産経会館）「運命」「ジゼル」「くるみ割り人形組曲」他
1957.01.27-28	全日本芸術舞踊協会主催芸術舞踊第2回合同公演（日本青年館ホール）
1957.02.10	全日本芸術舞踊協会主催第2回新人舞踊公演（第一生命ホール）
1957.04.13-14	東京新聞社主催第14回全国舞踊コンクール（日比谷公会堂）
1957.04.25	江口乙矢・須美子舞踊団東京公演（東京産経会館）「オルフェウス」他
1957.04.29-30	牧阿佐美バレエ団第2回公演（東京産経会館）「サーカス・バリエーション」「飛鳥物語」 台本・演出・振付＝橘秋子 出演＝牧阿佐美 福田政夫 大原永子 早川恵美子 遠藤展弘 等
1957.05.04	バレエ 1957 第1回公演（第一生命ホール）「感傷的なワルツ」振付＝オシズ 他 出演＝由井カナコ 都築秀子 中田トシ 薄井憲二 等
1957.05.25	江口乙矢・須美子舞踊公演（大阪産経会館）「オルフェウス」「ティンパニ」出演＝江口乙矢 江口須美子 等
1957.05.--	外崎芳昭、松山バレエ学校入学
1957.06.02	津田郁子近代舞踊発表会（埼玉会館）「踊る地球儀」照明＝高橋秀宣 出演＝津田郁子 内田茉莉子 和田寿子 若松美黄 等
1957.06.11-12	江口隆哉・宮操子舞踊団公演（大阪産経会館）「ファッション・ジャルポオ」「日本の太鼓」他 出演＝江口隆哉 宮操子 等
1957.06.27	横井・太田バレエ団公演（日本青年館）「美女と野獣」他 出演＝太田招子 遠藤善久 江川明 新井雅子 等
1957.06.30	小森舞踊団第4回公演（藤井公主宰）（日本青年館）「パシフィック231」「河」他 振付＝藤井公 出演＝藤井公 木村利子 等
1957.07.01	小林信次・藤井邦彦舞踊公演（東横ホール）「消えない炎」「M氏の日記」
1957.07.06	JFモダンダンスグループ（第一生命ホール）振付・演出＝伏屋順仁 出演＝伏屋順仁 秋山七絵 池田瑞臣 内田和子 高井富子 等
1957.07.20	森田真弘・近藤玲子合同舞踊公演（第一生命ホール）「黒いMEMO・出口のない空間」他 振付＝森田真弘
1957.07.26-08.14	ジャン・レオン・ディスティネ舞踊団公演（新宿コマ劇場 他）「洗礼の太鼓」他
1957.07.27.28	全日本芸術舞踊合同公演（日本青年館）「殺された神様」津田信敏近代舞踊派、「雪の夜に猫を捨てる」ヨネヤマママコ 他
1957.08.03	安藤・堀内ユニークバレエ団公演（第一生命ホール）「ジャズ組曲 No. 6」「プレリュード」他 振付＝安藤三子（安藤哲子） 美術＝小原庄 照明＝今井直次
1957.08.17-09.01	貝谷バレエ団新作公演（東京産経会館）「ノートルダムのせむし男」「コッペリア」
1957.08.19-09.09	牧阿佐美バレエ団公演 アレクサンドラ・ダニロワ、フレデリック・フランクリン招聘（東京産経会館）「パキータ」「モザルティアーナ」「ライモンダ」「ルール・ブルー」他
1957.08.24	加藤燿子東京公演（第一生命ホール）「赤いルーロン 白いアモン」「MW氏の交差点で捨てた夢」
1957.08.28-09.23	ポリショイ劇場バレエ団公演（新宿コマ劇場、大阪宝塚劇場）「白鳥の湖」第2幕、「春の水」「ワルブルグスの夜」「シンデレラ」「ドン・キホーテ」他 出演＝レベシンスカヤ ヤグジン等

1957.08.30	日本バレエ協会設立発起人記者会見 発起人＝服部智恵子 貝谷八百子 横山はるひ 谷桃子 橘秋子 松山樹子 小牧正英 東勇作 島田廣
1957.10.01-04	キャサリン・ダナム舞踊団公演（東京産経会館）「アフリカ」「ブラジル組曲」他
1957.10.09-10	谷桃子バレエ団公演（東京産経会館）「ジゼル」出演＝谷桃子 内田道生 小林恭 小野正子 高田和子 等、「火の鳥」出演＝石井清子 天野陽子 等
1957.10.19	津田郁子・渥見利奈近代舞踊公演（第一生命ホール）「黒い夢」「かくされた顔」「商業放送」他
1957.10.21,28	小牧バレエ団公演（読売ホール）「ソーピーとお巡りさん」振付＝小牧正英,「白と黒」振付＝関直人,「シンフォニック・バリエーション」振付＝小川亜矢子, 他
1957.10.24-25	貝谷バレエ団公演（共立講堂）「白鳥の湖」
1957.11.05	国立劇場設立促進合同公演（共立講堂）「くるみ割り人形組曲」他 松山、笹本、近藤、法村・友井、貝谷、広瀬の各バレエ団出演
1957.11.06-07	江口乙矢・須美子舞踊団新作公演（大阪産経会館）「九十九里浜」振付・構成＝江口乙矢・須美子 照明＝長谷川彰
1957.11.07	安藤三子舞踊公演（東京産経会館）「カクテル」振付＝安藤三子（安藤哲子） 堀内完 美術＝小原庄 照明＝松崎国雄 出演＝安藤三子（安藤哲子） 等
1957.11.07	創作バレエ名作選公演（東京産経会館）「チェック・メイト」出演＝石井晶子 薄井憲二 等
1957.11.05-09	松山樹子バレエ団芸術祭公演（東京産経会館）「バフチサライの泉」（日本初演）作＝プーシキン 台本＝ボルコフ 作曲＝アサフィーエフ 振付＝松山樹子 演出＝土方与志 美術＝松下朗 照明＝小川昇 出演＝松山樹子 小西両子 石田種生 等
1957.11.17	東京新聞社主催芸術舞踊合同公演（日比谷公会堂）
1957.11.24	七人の会第1回公演（第一生命ホール）
1957.11.26	安藤三子舞踊公演（第一生命ホール）「兵士の話」
1957.12.02	全日本芸術舞踊協会主催第3回新人舞踊公演（日本青年館）
1957.12.06	安藤三子・堀内完ユニーク・バレエ団公演（東京産経会館）「降霊術」
1957.12.07	小牧バレエ団歳末公演（読売ホール）「ペトルウシュカ」「ジゼル」「カフェ・バァ・カンカン」他
1957.12.08	島田正男舞踊公演（読売ホール）「杜子春」作曲＝佐野雅美 美術＝河野国夫 照明＝大庭三郎 出演＝島田正男（平多正於） 大野一雄 美二三枝子 西田堯 等
1957.12.14	横山バレエ団公演（東京産経会館）「コッペリア」「失楽園」出演＝横山はるひ 高田止戈 富田暉雄 等
1957.12.19	バレエ・ド・ブルゥ「ストラビンスキーの夕べ」（第一生命ホール）「ミューズの使者アポロ」「狐」振付＝高橋彪、「カプリチオ」振付＝ヴィタリー・オシズ 他
1957.12.--	川口秀子ミュージック・コンクレートの会（砂防会館ホール）「娘道成寺」演出＝武智鉄二 出演＝川口秀子 茂山千之丞 等
1957.--.--	貝谷八百子、パートナーの巳之部豊（高木典太）と結婚
1957.--.--	本田世津子、谷桃子バレエ団入団

1957.---	芸術院賞 花柳寿輔
1957.---	東京新聞社制定第5回舞踊芸術賞 高田せい子
1957.---	芸術祭奨励賞 松山バレエ団「バフチサライの泉」により
1957.---	世界青年学生平和友好祭(モスクワ)バレエ部門第2位銅賞 石井かほる「アニトラの踊り」
1957.---	大阪市民文化芸術賞 江口乙矢・江口須美子作品「九十九里浜」により
1957.08.25	岡田純子編「学校舞踊」
1957.---	批評集「イルミナチ」慶応義塾バレエ研究会発刊
1958年(昭和33年)	
1958.01.04-06	谷桃子バレエ団公演(東京産経会館)「白鳥の湖」出演=谷桃子 石井清子 等
1958.01.07-09	貝谷バレエ団公演(日比谷公会堂)「白鳥の湖」出演=貝谷八百子 加美早苗 等
1958.01.08	バレエ東京公演(日本青年館)「白の組曲」他
1958.01.08	バレエ1957第2回公演(読売ホール)「高雅にして感傷的な円舞曲」振付=オシズ、「陽気な幽霊」振付=薄井憲二, 他 出演=由井カナコ 薄井憲二 太田招子 高田戈 等
1958.01.10	西野バレエ団公演(日比谷公会堂)「白鳥の湖」出演=馬場敦子 門野佳子 等
1958.01.11-12	芸術舞踊合同公演(白木ホール)出演=津田郁子 渥見利奈近代舞踊派 等
1958.01.25-02.22 (3回公演)	青年バレエ・グループ公演(第一生命ホール)「ひかりごけ」振付=小森安雄、「贋作世界創造」振付=河内昭和、「古典交響曲」振付=粕谷辰雄
1958.01.26	北斗の会第一回公演(第一生命ホール)
1958.02.03-08 (3回公演)	貝谷バレエ団公演(日比谷公会堂、東京産経会館)「コッペリア」出演=貝谷八百子 春原永人 藤田繁 等
1958.02.16	JFモダンダンスグループ公演(第一生命ホール)「幻覚の野に唄う」「道」「歩く花」他 出演=伏屋順仁 秋山七絵 池田瑞臣 内田和子 高井富子 等
1958.02.24-03.11 (7回公演)	小牧バレエ団公演(日比谷公会堂、他)「白鳥の湖」「眠れる森の美女」出演=マーゴ・フォンテイン(初来日) マイケル・ソームズ 小牧バレエ団
1958.03.01	舞踊ペン・クラブ発足(評論・研究, 台本作者, 演出, 報道関係者による)
1958.03.03-05.01	松山バレエ団訪中公演(北京、重慶、武漢、上海)「白毛女」「ピーターと狼」他
1958.03.11	全日本舞踊会議発足(舞踊関係7団体の横の連絡機関) 参加団体=日本舞踊協会 全日本芸術舞踊協会 全日本児童舞踊家聯盟 日本バレエ協会 舞踊ペン・クラブ 能楽協会 民俗芸能の会
1958.03.12	日本バレエ協会発足 設立総会(青山・小原会館)
1958.03.17-04.10 (23回公演)	ニューヨーク・シティ・バレエ団公演(新宿コマ劇場、東京産経会館 他)「セレナーデ」「ウェスタン・シンフォニー」振付=バランシン, 「檻」「牧神の午後」振付=ロビンス, 「決闘」振付=ダラー 他 出演=マリア・トールチーフ ダイアナ・アダムス メリッサ・ヘイドン アレグラ・ケント アンドレ・エグレフスキー ジャック・ダンボワ ロイ・トバイアス 等
1958.03.29-30	貝谷バレエ団公演(日比谷公会堂)「くるみ割り人形」

1958.04.03-05	印度舞踊団公演(読売ホール)「カタクダンス」「バラタナティヤム」出演=ラビ・シャンカー 等
1958.04.10-05.11	中国歌舞団公演(新宿コマ劇場 他)
1958.04.12-13	東京新聞社主催第15回全国舞踊コンクール(日比谷公会堂)
1958.04.26	2世・藤蔭静枝第6回創作舞踊公演(東横ホール)「失われた黙示録」「氷の断層」「ギリヤーク族の古き吟頌歌」出演=藤蔭静枝(藤蔭美代枝) 江川明 堀内完 江口・宮舞踊団 五条雅巳 等
1958.05.01	バレエ東京公演(東京産経会館)「異邦人」「エレクトラ」「森の歌」振付=及川広信 出演=及川広信 広瀬佐紀子 笹本公江 堀内完 木村百合子 等
1958.05.04	高田せい子・山田奈々子舞踊公演(日比谷公会堂)「裸足のボレロ」「プランタン」他
1958.05.05	叛旗第1回舞踊公演(砂防会館)「はじめに体ありき」「若松美黄ABC」他 出演=若松美黄 等
1958.05.11	小森舞踊団公演(藤井公主宰)(九段会館)振付=藤井公「現代の表情その1・計算機」他 出演=藤井公 木村利子 等
1958.05.18	全日本芸術舞踊協会主催第4回新人舞踊公演(第一生命ホール)
1958.05.31	舞踊集団「東京」第1回公演(九段会館ホール)
1958.06.06-07	黛節子舞踊公演(読売ホール)「荒絹」「原体剣舞連」他 出演=関矢幸雄 小澤侑子 等
1958.06.07	増村克子舞踊公演(第一生命ホール)「ナルシッサ」「蛇は泣いている」台本=池宮信夫, 構成・演出=増村克子, 出演=増村克子 大野一雄 等
1958.06.07	邦千谷創作舞踊公演(日本青年館)「奇妙な祭壇」
1958.06.23	元藤輝子・藤井公・大谷旦舞踊公演(砂防会館)「現代の表情その2・希薄な展開」振付=藤井公, 「いのり」振付=元藤輝子, 「告解」振付=津田信敏, 「燃える向日葵」振付=大谷旦
1958.06.28	七人の会(砂防会館ホール)「1234567」「海のチューリップ」共同作品 構成=池宮信夫
1958.07.05-11.14 (6回公演)	日本バレエ協会結成記念東京バレエ祭(東京産経会館)16団体出演
1958.07.06	東京モダンダンス(JFモダン・ダンス・グループ改称)(第一生命ホール)「さぼてん」振付=池田瑞臣 出演=秋山七絵 高井富子 等
1958.07.13	全日本芸術舞踊協会第3回全国合同公演(夏の舞踊祭)(日比谷公会堂)出演=山田奈々子 藤井公 藤井利子 等
1958.07.14-15	ショーン・パルミサノ ダンスリサイタル(第一生命ホール)
1958.07.16-17	エレノア・キングのデモンストレーション(アメリカ文化センター)
1958.07.25	貝谷バレエ団公演(日比谷公会堂)「美しきダニューブ」他
1958.07.30	雑賀淑子バレエ・リサイタル(九段会館ホール)「ダイヤモンドを噛む女」他
1958.08.--	安藤三子・堀内完ユニークダンスグループ第3回公演(第一生命ホール)「プレリュード」「雪の上の足跡」出演=安藤三子 堀内完 冨師明子 土方巽 等

1958.09.05	石井みどり舞踊公演（東京産経会館）「打楽器による3章」振付＝石井みどり 演奏＝折田泉 小林孝典 美術＝高塚省吾
1958.09.12	三輝容子舞踊公演（白木劇場）若山牧水30年祭記念「山を見よ」「日蔭にてうたへる歌」より「ゆく水の」振付＝三輝容子
1958.09.26-28	舞踊華扇会第6回公演（新橋演舞場）「別冊日本霊異記」作・演出＝松本亀松 美術・照明＝遠山静雄 衣裳＝有賀二郎 出演＝江口隆哉舞踊団 関矢幸雄
1958.09.27	石井漠舞踊公演（「人間釈迦」300回記念）（東京産経会館）
1958.09.27	ワヤンクリット・バレエ第5回公演（千代田公会堂）「ジゼル1958年」他 振付＝前田喬子 演出＝寺沢正 出演＝津田郁子 木村百合子 江口舞踊団 等
1958.10.02	由田彰子舞踊公演（読売ホール）「青の世界」出演＝由田彰子 大野一雄 等
1958.10.03-05	谷桃子バレエ団10周年記念公演（東京産経会館）「ジゼル」「だったん人の踊り」出演＝谷桃子 内田道生 小林恭 石井清子 小松ちか子 日高惇 等
1958.10.04	バレエ・ド・ブルゥ公演（第一生命ホール）「或る天使の記憶へ」「夜鶯」他 出演＝井上梅子 高橋彪 等
1958.10.07	花柳寿々紫リサイタル（砂防会館）「おどり」「樹塊」他
1958.10.10	横井真佐子ダンス・リサイタル（第一生命ホール）「ガラスの像」他
1958.10.11	袴田美智子リサイタル（第一生命ホール）「ダフニスとクロエ」「つばき…おちる」「おおスザンナ」他 出演＝堤世王己 若松美黄 舞監＝土方巽
1958.10.12	東京新聞主催第20回芸術舞踊合同公演（日比谷公会堂）
1958.10.18	第1回神奈川県芸術舞踊祭（神奈川県立音楽堂）
1958.10.18	青年バレエ・グループ公演（日本青年館）「異聞イソップ物語」振付＝小森安雄，他
1958.10.24	関山三喜夫第1回ダンスリサイタル（名古屋市愛知文化会館）「サラリーマン」他
1958.11.01	全日本芸術舞踊協会第5回新人舞踊公演（砂防会館）出演＝若松美黄 木村百合子 等
1958.11.05	津田信敏近代舞踊派公演（東横ホール）「神様の話」他
1958.11.08	江口乙矢・須美子舞踊団公演（大阪、フェスティバルホール）「ペレアスとメリザンド」他
1958.11.08	服部・島田バレエ団公演（東横ホール）「ト短調協奏曲」振付＝島田廣 出演＝菅井利枝子 早川富士子 柴田善 等
1958.11.09	貝谷バレエ団公演（日比谷公会堂）「白鳥の湖」
1958.11.14	法村・友井バレエ団公演（東京産経会館）「羽衣」「煙」「ボレロ」
1958.11.20	NHKバレエの夕べ（東京産経会館）「レ・シルフィード」「オーロラの結婚」他
1958.11.22	島田正男舞踊公演（東京産経会館）「すかんぼの花咲く頃」作曲＝山下毅雄 美術＝有賀二郎，「水田種子」台本＝吉永淳一 作曲＝陶野重雄 美術＝河野国夫，振付＝島田正男（平多正於） 照明＝大庭三郎 出演＝島田正男（平多正於） 浅川高子 工藤昇三 等
1958.12.05,07	若松美黄舞踊公演（俳優座劇場）
1958.12.09	木村百合子舞踊個展（砂防会館）「残んの雪」「6ペンスの歌」「断頭台はつぶやく」作曲＝宅孝二

1958.12.09-11	劇団人間座 現代舞台芸術協会合同公演（俳優座劇場）「埴輪の舞」「ハンチキキ」振付＝ヨネヤマママコ 出演＝ヨネヤマママコ 大野一雄 土方巽 等
1958.12.21-28 (10回公演)	パリ・テアトル・バレエ団公演（共立講堂）「バラード」振付＝レオニード・マシーン，「レ・シルフィード」他 出演＝アンナ・ガリーナ 等
1958.---	東京新聞社制定第6回舞踊芸術賞 島田豊
1958.---	第13回芸術祭奨励賞 島田正男（平多正於）「すかんぼの咲く頃」により
1958.---	大阪市文化芸術祭賞 江口乙矢・江口須美子 「現代神話」により
1958.03.25	光吉夏弥「ニューヨーク・シティ・バレエ」音楽之友社
1959年（昭和34年）	
1959.01.03-05	谷桃子バレエ団公演（東京産経会館）「白鳥の湖」出演＝谷桃子 石井清子 森田伊保子 内田道生 小林恭 等
1959.01.06	貝谷バレエ団（日比谷公会堂）「白鳥の湖」
1959.01.---	舞踏集団「東京」第2回公演（白木ホール）
1959.02.24-03.11	小牧バレエ団公演（日比谷公会堂）マーゴ・フォンティーン、マイケル・ソームズを招き「白鳥の湖」「眠れる森の美女」を上演
1959.03.03	北斗の会第2回公演（第一生命ホール）「ストレンジ・フルーツ」「神と紙幣」「リズムと変容」他 出演＝砂川啓介 西田堯 正田千鶴 庄司裕 等
1959.03.13	服部・島田バレエ団公演（共立講堂）「シルビア」「ト短調協奏曲」 出演＝小倉礼子 大滝愛子 島田廣 等
1959.03.20	江口乙矢・須美子舞踊公演（大阪ABCホール）「九十九里浜」「道産子」「麦秋」他
1959.03.25-04.01,03-06	第16回全国舞踊コンクール＝東京新聞社主催（日比谷公会堂）
1959.03.29	貝谷バレエ団公演（日比谷公会堂）「白鳥の湖」出演＝貝谷八百子 永江巖 加美早苗 相浦田鶴子 等
1959.04.09	小川亜矢子・尺田知路コンサート（九段会館）「グラン・パ・クラシック」「イヴの鏡」他
1959.04.11	皇太子ご結婚記念合同バレエ祭（東京産経会館）「オーロラの結婚」他 出演＝笹本公江 広瀬佐紀子 薄井憲二 江川明 等
1959.04.25	大野一雄モダン・ダンス公演（第一生命ホール）「老人と海」原作＝ヘミングウェイ 作曲＝安田収吾 台本・演出＝池宮信夫，「太陽と屋根」「ベラフォンテとサルバドルによる小品（「親切な神様」「鳩」「拾った靴）」
1959.04.29	M+F舞踊公演（第一生命ホール）「祝典の譜」「触手」「讃美歌」他 出演＝森田真弘・益代藤井公・利子 等
1959.05.14-18	ジャニーズ・シヤラ・バレエ団公演（大阪フェスティバルホール、東京産経会館）「海藻」「六人のためのデッサン」，「高電圧」振付＝ベジャール，他 出演＝ジャニーズ・シヤラ 等
1959.05.24	全日本芸術舞踊協会主催第6回新人舞踊公演（第一生命ホール）土方巽「禁色」他
1959.06.02-03	貝谷バレエ団公演（日比谷公会堂）「ジャンヌ・ダルク」「道化師」

1959.06.21,28	松尾明美ソロ・リサイタル（久保ホール）「秋の木の葉」「とんぼ」振付＝アンナ・パヴロワ、「孔雀」振付＝伊藤道郎などを復元上演
1959.06.28,29	現代舞台芸術協会第1回公演（日本青年館）「夜の電話」「増殖儀礼」「ハンチキキ」「仮面」他 出演＝ヨネヤマママコ 三条万里子 内田和子 菅田桂子 須藤武子 大野一雄 関矢幸雄 土方巽 等
1959.07.04	バレエ・ド・ブルゥ公演（第一生命ホール）「G線上のアリア」「パ・センチメンタル」他 振付＝高橋彪 出演＝井上梅子 等
1959.07.13	国立劇場設立促進全国合同舞踊公演（日比谷公会堂）
1959.07.17	舞踊集団＜筈＞第一回公演（都市センターホール）出演＝厚木凡人 本田重春 浦辺日佐夫 等
1959.07.25	第2回7万人の夕涼み（神宮外苑 国立競技場）、オリンピック東京開催決定記念野外大納涼祭典 出演＝江口・宮舞踊団 他 構成・演出＝江口隆哉
1959.09.04-19	ユーゴー国立コロ舞踊団公演（日比谷公会堂 他）
1959.09.05	650エクスペリエンスの会 6人のアヴァンギャルド（第一生命ホール）「禁色」（2部作）「アガペの屍臭」他 出演＝土方巽 若松美黄 諸井誠 黛敏郎 ドナルド・リチイ 金森鯨
1959.09.13	貝谷バレエ団公演（日比谷公会堂）「白鳥の湖」
1959.09.24	服部・島田バレエ団公演（日本青年館）「ディベルティメント」「マチネ・ミュージカル」出演＝菅井利枝子 上野マリ子 森龍朗 畑佐俊明 等
1959.09.26	ソ連国立モイセイエフ民族舞踊団公演（新宿コマ劇場）
1959.09.26-27	牧阿佐美バレエ団公演（東京産経会館）「四つの大行進」他 振付＝橘秋子
1959.10.09	芸術舞踊合同公演（日比谷公会堂）
1959.10.24	笹本公江バレエ・リサイタル（文京公会堂）「蜘蛛の饗宴」他
1959.10.29-11.03	芸術祭主催舞踊公演（文京公会堂）「月に吠える」8景 作曲＝陶野重雄 出演＝江口隆哉 平岡斗南夫 厚木凡人 大野一雄 等、「海のバラード」「天と地と」
1959.11.02	花柳照奈創作舞踊発表会（東横ホール）「月を売る」 出演＝花柳照奈 花柳茂香 他
1959.11.08	貝谷バレエ団公演（日比谷公会堂）「白鳥の湖」
1959.11.10	第2回フォーク・ウェイ舞踊公演（第14回芸術祭参加）（東横ホール）「赤と黒」「悲愴」「十二律」 振付・出演＝会田久子 江崎司 花柳五郎
1959.11.10	法村・友井バレエ団公演（東京産経会館）「シェヘラザード」出演＝友井唯起子 永江巖 法村康之 等
1959.11.13	北井一郎芸術祭参加舞踊公演（東横ホール）「幻炎」（千手観音像・獅子像・如来像と日蓮） 構成・振付＝北井一郎 作曲＝石井欽 美術＝橋本潔
1959.11.14	石井漠創作舞踊鑑賞会
1959.11.21	邦正美創作舞踊公演（都市センターホール）「黄色い時間」 演奏＝渡辺武夫 金岩威和雄 照明＝大庭三郎
1959.11.21	平多正於舞踊公演（東京産経会館）「田の神のまつり」 台本＝吉永淳一 振付＝平多正於
1959.11.24	バレエ東京公演（都市センターホール）「血の婚礼」 振付＝堀口昌徳、他

1959.11.28-12.09 (14回公演)	日本バレエ協会による芸術祭主催公演（東京産経会館）「金鶏」（日本初演） 出演＝小牧正英 谷桃子 大滝愛子 貝谷八百子 松山樹子 田中福枝 東勇作 粕谷辰雄 島田廣 関直人 等
1959.12.07	第1回女流アヴァンギャルドの会（都市センターホール）出演＝木村百合子 音楽サヒナ 元藤輝子 藤平かよ 他
1959.---	小川亜矢子、ふたたび渡英
1959.---	小林功、谷桃子バレエ団入団
1959.---	松本道子、松山バレエ団に移籍
1959.---	井上博文、橘秋子に師事
1959.---	紫綬褒章 高田せい子
1959.---.03.10	東京新聞社制定第7回舞踊芸術賞 花柳徳兵衛
1959.---	第14回芸術祭賞 花柳徳兵衛舞踊団「魂にもらった話」「三つの世界」「民族舞踊集」 吉村雄輝上方舞「この鳥」 芸術祭奨励賞 法村康之・友井唯起子「シェヘラザード」
1959.---	第1回舞踊ペン・クラブ賞 個人演技賞：木村百合子「埴輪」 振付賞：花柳錦之輔「まわた雲」「蝶を歌う」 演技団体賞：谷桃子バレエ団「ジゼル」 音楽賞：清水脩・黛節子「荒絹」 作品賞：みやこ会「野鳥三態」 青年バレエ・グループ「ひかりごけ」
1959.02.--	「芸能」復刊
1959.05.--	20世紀舞踊の会同人「20世紀の舞踊」創刊（各月発行）
1959.11.--	郡司正勝「おどりの美学」演劇出版社

「日本洋舞史年表Ⅰ」

2003年12月18日発行

2009年12月11日改訂

編集：日本洋舞史研究会

発行：日本芸術文化振興会

新国立劇場情報センター

東京都渋谷区本町 1-1-1

Tel 03-5352-5781

Fax 03-5352-5784